

# 東京武道館

## 指定管理者審査 提案書類（事業計画書）

団体名 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

---

所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-29-9日本パーティビル  
公益財団法人東京都スポーツ文化事業団内

---

代表者名 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団  
理事長 中嶋 正宏

---

## 事業計画書様式一覧

提 案 課 題			ページ		
1 事業計画書	提案課題 1	管理運営の基本方針	1		
	提案課題 2 施設の提供、運営に関する業務	1 施設の提供	(1) 施設提供の実施方針	4	
			(2) 休館日及び開場時間	7	
			(3) 利用の調整	8	
			(4) 利用料金 (別表) 利用料金表	9	
		2 施設の運営	(1) トレーニングルーム運営業務	11	
			(2) 武道相談業務	13	
		3 施設内サービス	(1) 受付案内	14	
			(2) 苦情・要望等に対する対応等	15	
		提案課題 3 スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務	1 事業の提供	(1) スポーツ振興事業 (別表) 事業実施計画	16
				(2) スポーツの日記念事業 (別表) 事業実施計画	18
	(3) 自主事業 (別表) 事業実施計画			19	
	(4) 周辺連携事業 (別表) 事業実施計画			21	
	(5) 利用者に対するサービス提供事業 (別表) 事業実施計画			22	
	2 施設の事業を支える仕組み		(1) 広報	24	
			(2) 業務の品質管理	25	
	3 都立スポーツ施設等のネットワークを生かした取組			26	
	提案課題 4 組織及び人材		1 効果的かつ効率的な組織体制の確保 (別表) 各部門の所要人員		28
			2 明確な責任体制の構築		30
		3 適切な勤務体制等		31	
		4 人材育成の取組		32	
	提案課題 5 施設の維持管理その他管理運営に関する業務	1 施設、附属設備及び物品の維持管理	(1) 施設、附属設備及び物品の維持管理	34	
			(2) 施設の修繕	36	
		2 その他管理運営に関する事項	(1) 危機管理及び災害対応	38	
			(2) 地球環境への配慮	39	
			(3) 個人情報の保護	40	
			(4) 感染拡大防止	41	
	提案課題 6 収支計画		42		
	(別表) 指定管理期間中の収支計画				
	(別紙1) 収支計画の積算内訳				
(別紙2) ⑤委託費(維持管理費等)の積算内訳					



## 提案課題1〔管理運営の基本方針〕

### 東京都における武道の殿堂として一層の武道の普及振興を図るとともに、城北・城東部に位置するスポーツ施設として、東京都の施策を推進し、スポーツフィールド東京の実現に貢献します

都民に夢と感動を与える国際大会や全国・全都的大会等を積極的に誘致するとともに、公平性に配慮した利用調整により、東京武道館のブランド価値を高めます

東京都の城北・城東部の武道・スポーツの中心である本施設において、全国的・全都的な大会の誘致・開催、武道家の強化・育成、都民のスポーツ実施率の向上や健康増進、周辺施設等との連携を進め、地域に親しまれる施設に発展させていきます

3期17年の実績を生かし、東京都の政策連携団体、民間企業が一体となって、豊富な経験と運営ノウハウを最大限に活用したサービス提供により、多様な人々が集い活動する施設に発展させていきます

#### 基本方針

#### 1 武道振興の拠点として普及振興に寄与-施設の戦略的活用-

- 当グループは、全日本空手道選手権や全国高等学校柔道選手権大会の全国的な大会や武道の都大会などの全都的な大会の誘致を行い、**東京都の武道振興の拠点**としてのブランド力を高めてまいりました。さらなる誘致を行い、本施設がより一層都民に**夢と感動を与える施設**となるべく邁進してまいります。
- 日本武道館共催事業をはじめ、他の武道施設や武道団体と密接な連携を図ることで、ソフト面、ハード面から競技者・指導者を支援する役割を担います。
- 3期17年にわたり施設運営をしてきた実績から、東京都における武道振興の拠点としての**特性を十分に理解した上で、「スポーツでの更なる活用」「多様な活用による新たな体験」「施設・地域との連携」**などの活用を図っていきます。

#### 2 誰もがスポーツを楽しめる健康的な社会生活の創出-多岐にわたる武道・スポーツの場の提供-

- 都立18スポーツ施設**（以下「18施設」という。）のネットワークを最大限活用した事業に取り組むとともに、共生社会の実現に向けた施設運営を行っていきます。
- パラスポーツ普及のため、**他施設との用具の共有など、きめの細かな対応**をしていきます。
- 本施設は城北・城東部における都立スポーツ施設の中心的役割を担っており、武道を基本に置きつつ、卓球やバレーボールなどの多様なスポーツの場として提供してまいります。
- 「未来の東京戦略」「TOKYO スポーツレガシービジョン」「東京都スポーツ推進総合計画」を踏まえ、東京都の政策連携団体である代表団体Aが中心となり都施策に沿ったスポーツ振興プログラムを実施していくことで、スポーツ実施率70%を達成し、スポーツの力で人と都市が活性化する「スポーツフィールド東京」の実現に寄与します。
- スポーツの普及・振興のため、スポーツの日記念事業等、本施設の特性を生かした事業を実施します。



ポッチャ体験

#### 3 快適な利用の実現-知識・経験を生かした安心・安全の徹底-

- 老朽化した施設・設備などで事故につながりうる事象を細部まで点検するとともに、床面や用具の使用形態に精通したそれぞれの専門家が**トラブルを最小限に抑えるための予防・事前措置**をきめ細かく実施してまいります。
- また、過去発生した他施設での事故事例などを教訓に、書面での周知に加えて、モニタリング検査を行うなど、常に危機意識を持ち管理してまいります。
- 指定管理期間だけでなく、大規模改修後も見据えた**長期的な視点で計画的な維持管理**を行い、建物のライフサイクルコストを削減します。



施設の維持管理

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



## 提案課題1〔管理運営の基本方針〕

### 運営方針

#### 1 魅力的な大会の誘致や事業展開による、武道のすそ野拡大

- ・東京都の武道を統括する9つの団体が加盟している「**東京武道館武道協議会**」への働きかけなど、大会を誘致し質の高いスポーツ観戦機会等を促進します。
- ・指導や育成のための**9種類の武道練成事業**を行い、武道レベル向上への取組を行うとともに、武道相談など初心者から上級者まで幅広く技術向上を行う仕組みを提供します。
- ・**武道初心者・関心者層**に向け、修練・修行などを伴う伝統的な「武道」だけでなく、エンターテインメント性やレクリエーション性も兼ね備えた**スポーツチャンバラ**などの「**BUDO**」種目を実施することで、武道のすそ野拡大を図るとともに、スポーツ実施率向上につなげていきます。

#### 2 東京都の各種施策との連動・協力

- ・日本文化や観光等との相乗効果を高めるため、本施設に設置されている茶室を有効活用し、**柔道、剣道、弓道**の各武道を組み合わせ、将来的に**武道ツーリズム**につながる事業を展開していきます。
- ・本施設は東京都の「一時滞在施設」に指定されていることから、開設訓練を継続的に実施し、マニュアルの充実を図り、災害発生時には防災拠点としての役割を果たします。
- ・**新しい日常に対応**し、スポーツを「みる」「支える」ことができるよう、Wi-Fiを増設することで、大武道場使用の大会に際して**映像配信が可能な環境を構築**し、新たなスポーツ観戦の方法を創出します。
- ・武道やスポーツ等の資料の収集・保管及び提供を行い、都民のスポーツ活動の水準の向上を図ります。

#### 3 経験・実績に裏付けられた競技団体との利用調整

- ・本施設は、毎年多くの利用希望がありますが、これまでに蓄積された**ノウハウと経験、利用団体との信頼関係を生かし**、公平性に配慮しながら経験・実績に裏付けられた利用調整を行います。
- ・スポーツ案内ポータルサイト(SPOPITA)や予約システムを管理運営してきた代表団体Aのポテンシャルを生かし、**18施設のネットワークを最大限活用した利用調整**を行います。
- ・これまでも、パラ競技については、主催者と利用される方の目線に立って綿密な打ち合わせを行い、**デフ柔道や関東聾学校バレーボール大会**などの施設利用を調整してきました。今後ともきめ細やかなサポートを行い、更なるパラ競技大会の誘致を目指します。
- ・他の**スポーツや講習会等の利用についても調整**し、施設を有効に活用します。

#### 4 利用者の安全・安心への取組み

- ・他の武道施設での床のささくれ事故、器具の破損事故なども参考に、**床のささくれ、器具の定期点検**などきめ細かい作業を行い、リスクを厳しく評価し、早めの補修、部品の交換を行います。
- ・備品リストの作成、競技に応じた必要な消耗品や備品の購入、利用前後の用具・競技設備の点検を着実に実施します。特に大規模大会では、万全な準備が必要であり、都立スポーツ施設の運営を通じて培ってきた施設管理のノウハウを最大限生かし、利用しやすい環境を整備します。

#### 5 地域とのつながりと地域への貢献

- ・との連携を図り、本施設を**ランニングステーション**として提供するとともに、スタジオプログラムを公園内で実施します。また、**地元商店街や学校と連携**し、地域に根差した賑わいや一体感のある運営を目指していきます。
- ・足立区の清掃活動や綾瀬警察署に積極的に協力し、地域の賑わいと安全を創出します。

#### 6 施設のサービス・魅力向上に対する不断の改善

- ・働き方改革により職員の働きやすさを追求することで職員のモチベーションや業務効率化を図り、安定した経営と質の高いサービスを実現します。
- ・利用者からの**日常的な意見収集や利用者懇談会、利用者満足度調査**を継続して行い、利用者視点に立った運営を行っていきます。**中長期視点ではPDCA、短期視点ではOODA**の手法を取り入れ、利用者の要望を施設運営に確実に反映していきます。

#### 7 施設の長期的視点での保全

- ・本施設は建物以外に外構や導入路等が一体となった建築物であり、設計者の意向に沿って**調和のとれた維持管理**が求められています。3期17年にわたる経験に基づき、その**意匠に十分に配慮した維持管理**を行ってきました。今後も引き続き配慮し、保全していきます。
- ・予算の効率的執行・収益の活用により、**長期的な視点に立った保全**、臨時保守点検をこれまで同様実施していきます。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

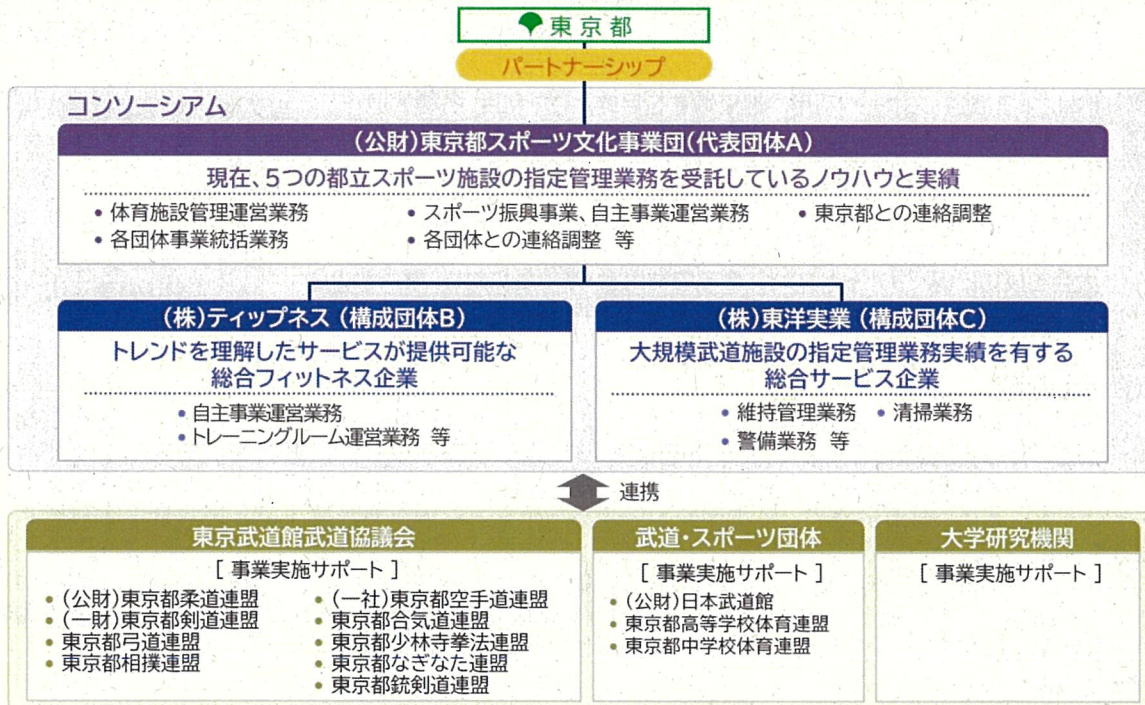


提案課題1〔管理運営の基本方針〕

業務全体にかかる履行体制

スポーツ施設の運営を熟知したコンソーシアムの結成

- 当グループの代表団体（以下「代表団体A」という。）は、**東京都の政策連携団体**であり、東京都の政策に則った先駆的な事業展開、異常事態発生時に東京都の方針に変更・依頼に**柔軟に対応できる唯一無二の団体**です。
- 当グループは都立スポーツ施設の指定管理実績を有する代表団体Aのもと、**トレンドを理解したサービス**が展開可能な企業（以下「構成団体B」という。）、都内の大規模武道施設や都立施設を管理しており、本施設の**特殊設備や老朽化対策等を管理可能な企業**（以下「構成団体C」という。）の3者がコンソーシアムを結成し、迅速にサービスを提供します。



業務全体にかかる履行体制

政策連携団体である代表団体Aが中心となり18施設の連携を促進

- 東京都のスポーツ振興施策に精通し、管理運営のノウハウを有する代表団体Aが、18施設全体の連携を先導する機能を発揮します。また、各施設の施設管理者同士をつなぎ、一体的な取組に係る企画調整を行うとともに、競技団体や個人に対して、予約や施設利用に関する問い合わせ等にも対応するコンシェルジュ機能を担うことで、スポーツフィールド東京の実現に貢献します。

スポーツフィールド東京の実現に向けて

18のスポーツ施設の連携の中心を東京武道館(政策連携団体である代表団体A)が担う



事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



(1) 施設提供の実施方針

**施設提供を通じて「スポーツフィールド東京」の実現を強力に後押しします**

- 都立スポーツ施設の戦略的活用のため、公共性を保ちつつ多様な大会を開催します
- 代表団体Aのグループで連携し、戦略的な大会誘致を行います
- 多くの全国・全都的大会のサポート経験豊富な職員がパートナーとして開催をサポートします
- 武道場等を有効活用して個人利用を促進します



**1 施設提供における基本方針**

「東京都スポーツ推進総合計画」や「TOKYO スポーツレガシービジョン」、施設の設置目的などを踏まえ、「する・みる・支える」を観点とした施設提供を通じて、東京都における**武道振興の拠点**として、「**スポーツフィールド東京**」の実現に貢献していきます。

する  
みる  
支える

団体による武道・スポーツ利用や健康増進を目的とした利用、各種武道の体験教室、トレーニングルームの個人利用など、様々な施設提供により**武道・スポーツ実施の裾野拡大**を図り、**機会向上**に貢献します。

国内外のトップスポーツ大会を誘致・開催することにより、上質なスポーツ観戦機会の拡大や開催実績による都市プレゼンスの向上、地域の活性化に繋げ、**スポーツによる東京の魅力**を創出します。

「大会を成功に導くサポート」など、**全ての利用者・来場者に対し、東京都のスポーツ施設ガイドラインに沿った、安心・安全・快適な施設利用**を提供します。

— 当グループによる施設提供 —

**する** 裾野拡大・機会向上

**みる** 東京の魅力創出

**支える** 安心・安全・快適

**スポーツフィールド  
東京の実現に貢献**

**2 施設ごとの提供方針**

**①大武道場**

・オイル塗装の「なら積層板」による木製クッション床の特徴を生かした、剣道・なぎなたなどの**素足で行う武道種目のほか、マットを使用して柔道・空手などの武道種目にも対応**します。全国的・全都的な大会を開催することにより、東京都における**武道錬成の拠点**としての活用促進を行います。また、武道以外の、スポーツ・レクリエーション・各種行事等にも施設提供を行います。

**②第一武道場**

・畳敷きの施設として、柔道、合気道等の小規模な試合会場、また、団体利用のない時間帯には**個人での利用**を行います。大武道場での大会開催時の練習会場として利用するほか、**畳敷きの特性を生かし**、競技かるた大会や体操等での利用を行い、施設を有効活用します。

**③第二武道場**

・「赤松の無垢板」敷きの施設として、剣道、なぎなたなどの床面を使用する武道種目に適しています。第一武道場同様、大会開催時の練習会場としての利用のほか、**素足で行うエアロビクス、体操等にも提供**します。また、団体利用のない時間帯には**個人での利用を促進**し、施設の稼働率を上げるよう運用します。

**④弓道場**

・近的場の上に遠的場が位置するユニークな構造の施設です。大会利用や高校、大学等の部活動の利用対応ができるよう、**施設貸出調整**を行います。また、団体利用のない時間帯には、**個人での利用を促進**し、施設の稼働率を上げるよう運用します。

**⑤茶室**

・武道施設ならではの**本格的な茶室**です。茶道、華道のほか、学習会などにも提供します。当グループでは、**武道ツーリズムに取り組むステークホルダー**として、地元自治体や観光産業関係者などへの働きかけを行い、将来的にはインバウンド向け茶道体験の場として活用を検討します。

**⑥和研修室（7室）**

・畳敷きの8畳和室です。大会、競技会の補助室や研修・会議等に利用できます。ヨガ教室として活用するとともに、将来的にはインバウンド向けに様々な日本文化を体験できる施設として提供することを検討します。

**⑦大研修室**

・最大200名が収容できる大型会議室で会議や講習会、**軽体操などのレクリエーションに活用するほか**、大武道場利用時の大会控室としての提供も行います。また、3室に分割利用できるので、用途に合わせて小研修室としての提供も行います。  
・トレーニングルーム運営の一環として、平日の空いている時間帯を活用した「スタジオプログラム」を実施し、施設を有効活用するとともに都民の多様なスポーツニーズに応えていきます。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



## 提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕 1 施設の提供

### 3 専用使用における施設提供

全日本空手道選手権大会、全国高等学校柔道選手権大会など各種武道団体が、全国・全都的規模の主要な大会を本施設で行えるよう、大会規模、種目のバランス等に配慮し、**公の施設としての公共性を確保**しつつ、適切な利用調整を行います。

#### 稼働率向上に向けた取組

- ・施設空き状況は、ホームページ・SNS や施設内の掲示などで情報発信し、積極的に利用を促進します。
- ・直前割引制度や武道場の分割貸出等を引続き実施し、施設の有効活用を図ります。
- ・武道のみならず、学校の入学・卒業式、体育祭、プラスバンド等での利用を促進します。
- ・稼働率向上の取組の一環として、改修中で体育館やグラウンドが使えない学校の主催行事での利用や、放課後の部活動の場所としての貸出しなどを行っており、地元へ貢献する**地域に根差した施設**としても活動を継続していきます。

#### 大会誘致戦略

- ・代表団体Aは、**複数の施設を管理**していることから、大規模大会（「東京都卓球選手権大会」など）を分割して他施設と本施設で同時開催をする、また、他施設が工事などで休館した場合、その施設で開催している大会（「JOC ジュニアオリンピックカップ(レスリング)大会」）を本施設で開催するなど、複数施設を管理しているメリットを最大限生かした施設間調整を行っていきます。
- ・大規模大会を誘致してきた実績を踏まえ、総合スポーツ施設として、バレーボールや卓球等への更なる活用を行います。

#### 大会の成功に向けた具体的対応

##### 【大会当日まで：パートナーとしての親身な対応】

- ・当グループは、単に施設の貸出しを行うだけではなく、大会主催者の「**パートナー**」として、大会の成功に向け、サービス業務担当者と設備業務担当者など、グループを挙げて、全力で親身なサポートを行います。
- ・頻繁な打合せ機会を提供するほか、担当窓口を一本化し、主催者と密な連携体制を構築します。
- ・事前相談や競技団体による会場視察では、予め「**SPOPITA**」の**VR ツアー活用**による施設下見を実施し、施設の利用状況にかかわらず、会場のスケール感、雰囲気を確認できるようにします。これにより施設下見の時間短縮など、利用者サービス向上を図ります。
- ・本施設は、全国・全都的大会で利用されるほか、他の武道施設で行われる国際大会の練習会場としても利用されます。その実績が評価され、**東京 2020 大会では空手道競技の練習会場**として選定され、本施設のスタッフによる親身な対応によって大会の成功に貢献してきました。その経験を生かし、今後も様々な大会を適切にサポートしていきます。

##### 【パラスポーツ・障害者利用への対応】

- ・これまで実績のあったパラ空手大会やデフ柔道に加え、新たに開催要望のあった関東聾学校バレーボール大会など、年々利用要望が増加していくパラ種目の大会開催に向けて、車いす動線のアナウンスや聴覚障害者への手書きコミュニケーションなど、これまで行ってきたサポート実績やノウハウを通じて、快適な利用を提供していきます。

##### 【VIP（皇室・政府関係者・各国大使等）への対応】

- ・過去の実績を踏まえ、主催者に**動線や対応方法のアドバイス**を行うほか、東京都、警察署、各関係機関と連携を図り、館長が誘導・案内を担当するなど**万全な体制**を構築し対応して行きます。

##### 【大会を彩る広場使用】

- ・当グループでは、大規模大会時に正面広場で献血実施をする主催者に対し、運用面や SNS 発信などで支援してきました。
- ・今後も屋台村や展示コーナーなど、開催する大会にマッチした演出を主催者に提案・協議し、正面広場を一層活用していきます。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕 1 施設の提供

【安全を最優先に、円滑な運営をサポートする内容】

- ・主催者をサポートするため、次の項目の各種アドバイス及び業務を行います。

項目	内容
大会企画	・武道から球技・体育祭まで各種コート設営マニュアルを完備 ・看板作成業務の代行
設営準備	・進行・会場レイアウトのアドバイス ・球技を行う場合は防球ネットを設置 ・吊物や重量物の安全確認 ・畳や空手競技用マット等の設置 ・会場レイアウトの図面起こし ・各種設営・撤去業務(床養生、椅子並べ、畳の設置、競技ライン引き等)
大会開催中	・警備員による入場、交通誘導のサポート ・施設に隣接する駐車、騒音等への対応 ・弓道の的紙貼り及び的の取付け・取外し ・放送設備・音響設備のセッティング・操作 ・ブラインド・照明の操作 ・出演者の警備などの臨時警備サービス
大会終了後	・大会延長等による深夜の撤去作業のサポート ・大会終了後の会場の清掃、ゴミ廃棄

サポート内容

【大会の運営に必要な備品・用具の無償貸出】

- ・大会に必要な用具の貸出しに関して、可能な限り協力を行います。

種目	貸出物品例
柔道	畳(8面)、柔道タイマー、体重計(5台) 等
剣道	審判旗 等
弓道	的前審判用防矢ガラス 等
空手	空手マット(10面)、空手タイマー 等
バレーボール	ポール・ネット・アンテナ・審判台(3面)、得点板 等
卓球	卓球台・卓球用得点板(40台)、卓球用防球フェンス(100台) 等
運動会	カラーコーン、電子ピストル、Bluetooth対応音楽デッキ 等
共通	机(80脚)、椅子(300脚)、掲示板(18台)、ホワイトボード(15台) 等

無償貸出の例

4 個人利用への施設提供

各武道場の個人使用への提供

- ・専用使用に空きがある場合には、武道、ダンスなどの稽古・練習に利用できるよう、大武道場以外の各武道場を個人使用に開放し、都民のスポーツ実施率の向上と施設の有効活用を促進します。

【個人使用を促進するための情報発信】

- ・各武道場の個人使用ができる時間帯は、2週間前の土曜日午後3時にホームページ掲載するとともに館内に掲示することで周知します。

トレーニングルームの運営

- ・構成団体Bが有するノウハウを最大限に活用してトレーニングルームを運営します。最新のトレーニングマシンを備え、親しみやすく質の高いサービスで利用者の拡大を図ります。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



(2) 休館日及び開場時間

**利用者ニーズを踏まえた弾力的な休館日・開館時間を設定します**

- 条例を原則としながらも、使用希望に柔軟に対応した休館日を設定します
- 利用者の特性やニーズを踏まえ、年末年始、早朝・夜間の開館にも柔軟に対応します
- 利用者から好評なトレーニングルームの開場時間延長を継続します



1 休館日設定の考え方

**弾力的・効率的な休館日設定**

- ・ 東京都体育施設条例に基づき、原則として毎月第3月曜日（休日の場合にはその翌日）を休館日としますが、大会などの使用希望を踏まえ、東京都と協議の上、弾力的な休館日設定を行います。
- ・ 法定点検、施設整備等を休館日に実施することで、メンテナンスのための休館日を設けることなく、効率的な施設運営を行います。

**専用使用施設では、年末年始の利用にも柔軟に対応**

- ・ 越年稽古及び大規模大会の開催など、利用団体からの要望がある際には、東京都と協議の上、年末年始の開館にも柔軟に対応し、**多様な施設活用を推進**します。

**年末年始の休館日設定**

- 団体の専用使用を主とした施設  
12月31日～1月3日  
※ 利用団体の要望に基づき、  
年末年始の開館にも柔軟に対応
- 個人使用を主とした施設  
12月31日～1月3日

**柔軟な対応**

年末年始の休館日設定

**個人使用施設では、現行の休館日設定を継続**

- ・ 長年、毎月第3月曜日に休館を設定しており、利用者からの理解を得られています。今後は現行の休館日設定の継続をベースとしつつも、利用者のニーズを的確に捉え、柔軟に対応をしていきます。
- ・ 現行どおり年末年始の休館日設定(12月31日～1月3日)は最小限とし、都民の利用ニーズに対応します。
- ・ 休館日のお知らせは、館内周知だけでなく、東京武道館のホームページ、Twitter 等を活用し、効率的に周知を行います。

2 利用時間帯の拡大を継続

**専用使用施設の時間延長等に柔軟に対応**

- ・ 大規模競技大会では、大がかりな会場設営や撤去作業が必要になるため、早朝・深夜にわたる利用を希望される団体がある場合には、早朝・夜間の**利用時間の延長に柔軟**に対応していきます。
- ・ 早朝・深夜における利用は、騒音等による近隣住民等への影響も考慮する必要があり、利用者へのマナーの呼びかけ、近隣住民への意見収集、説明を徹底します。

**開場時間の設定**

団体の専用使用を主とした施設

**9:00～21:00**

※利用団体の要望により、繰り上げや延長にも対応

**利用者満足度調査にて、約8割の利用者が、現行制度に「満足」**

開場時間の設定

**個人使用施設の利用時間帯延長の継続**

- ・ 利用者の早朝利用ニーズを把握するため、試験的に開場時間を早め（2か月）、調査を行いました。今後もより多くの方に御利用いただけるよう、必要に応じて同様な調査を行い利用者ニーズの把握に努めます。
- ・ 綾瀬駅に近いという立地から、帰宅時に利用される方が多数おられ、仕事帰りにもゆとりを持って利用できるよう、**トレーニングルームの平日・土曜日の開場時間は、22時までの延長**を継続します。

曜日	時間
月～土	9:00～22:00
日・祝	9:00～21:00

営業時間

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



(3) 利用の調整

**ノウハウを生かした利用調整と公平・簡便な申請・承認手続を実施します**

- 公平・公正な利用調整と、ノウハウを生かした調整能力を発揮し、より多くの大会開催を実現します
- 簡便な個人使用手続きを継続し、より使いやすい施設を目指します
- ICプリペイドカード利用による、個人使用施設のキャッシュレスを継続します



1 専用使用における使用申請・使用承認

**優先受付における申請・承認の調整**

【公共性に配慮した調整】

- ・優先受付は、東京都体育施設条例施行規則に基づき、東京都、東京都教育委員会、官公署等が認める公益性の高い事業又は大規模な行事、世界的、全国的、全都的大会などに利用する場合とします。
- ・使用承認に当たっては、本施設の設置目的が「東京都における武道振興の拠点」であり、全都・広域施設としての位置づけられている点を踏まえ、大会の**公益性や規模などを考慮**して利用調整を行っていきます。

【調整能力の発揮】

- ・当グループは、複数の都立スポーツ施設の運営実績を有しており、東京都体育施設条例や管理基準、減額免除の適用の有無など、施設承認に伴う必要不可欠な事項を十分に理解し、右図のとおり**過去実績の照合**などをしながら適切な判断を行っていきます。
- ・大会を開催しやすい土日・祝日は、特に利用希望が集中し100%近い高稼働率となることから、**高度な調整能力**を求められます。各団体からの要望に応えながらも公平かつ適切に調整を行っていきます。
- ・東京武道館武道協議会、東京武道館利用者懇談会による**各団体とのネットワーク**を生かして利用調整を行っていきます。

【利用調整の工夫】

- ・使用申込書等は、**はんこレス対応**とし電子データでの申込を可能とします。利用申請関連の様式をホームページ等へ掲載し、申込団体がダウンロードして必要事項を記入の上、申込みことで、問合せや書類の相互発送など、煩雑な手続きを解消しスムーズで快適な利用申請を提供します。
- ・事業計画書には、大会規模、参加対象者、観客予定数などの大会概要とともに、使用希望日を第1希望から第5希望までの記入欄を設け、**希望を十分把握**した上で各申込団体の希望がかなうよう**最大限に調整能力を発揮**します。

**一般受付における申請・承認の流れ**

- ・一般受付は、管理運営基準に基づき、**武道による使用を優先**し、次いで体育・スポーツ及びレクリエーションの使用を優先し、利用希望日が重複した場合は、抽選などにより**公平・公正に利用調整**を行います。
- ・空き施設については、ホームページや施設内での掲示等を通じて広く周知を図り、**施設の有効活用**を図っていきます。

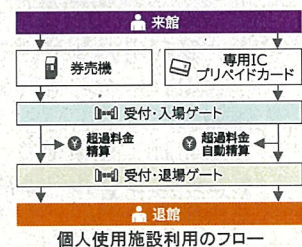
**大会誘致及び稼働率向上の取組**

- ・代表団体A内に設置された**大規模大会誘致戦略チーム**を活用しながら、施設別利用状況を把握するなど、様々な情報収集を実施します。また、**日本武道館や講道館などの他施設とのネットワーク**を駆使して、大規模大会の誘致や、その開催時に**本会場・練習会場などの役割分担**を行うなど、施設プレゼンスの向上に貢献します。

2 個人使用における使用申請・使用承認の流れ

**ICプリペイドカード利用による入場**

- ・個人使用施設における使用申請・承認の流れは、右図のとおりです。
- ・条例等の基準に基づく減免対象の方など、個別の対応が必要な場合は、各受付で対応します。



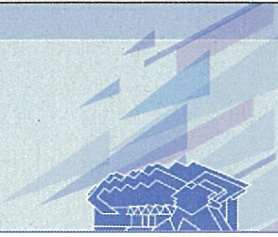
事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕 1 施設の提供

(4) 利用料金



事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕 1 施設の提供

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



(1) トレーニングルーム運営業務

## 国内 167 か所で運営実績を有する構成団体Bの運営ノウハウを生かしスポーツ実施率向上に寄与します

- 適切なスタッフ配置及び安全・感染対策を徹底し、安心して利用できる施設を提供します
- あらゆる方が快適に使える機器を設置し、ニーズを反映した多様なサービスを実施します
- との連携を深め、トレーニングルームの新たな使用方法を提案します



### 1 利用者の安全管理及び品質維持向上の取組

#### 適切なスタッフ配置と教育研修

- ・安全管理と接客接遇の専門的な研修を受けたスタッフを配置し、運動によるケガ・事故の未然防止、ホスピタリティ溢れる接客で安全で快適な利用環境を確保します。
- ・毎時間ごとに施設内巡回を行い、利用者とのコミュニケーションを図り、一人ひとりの体調の変化や疲労度合いに気を配り巡回項目として記録します。
- ・定期的なトレーニング研修を行い、知識や技能の習得を図り質の高いスタッフ養成を行います。また、スタッフ全員が救命訓練を受講すると共に、AED研修、防災訓練（各年2回）の参加を義務付けます。
- ・雨天時の入口周辺の滑りや、フリーウェイトエリア混雑時の使用方法などは、責任者が吸い上げスタッフ全員に共有することで事故やケガの未然防止を図ります。



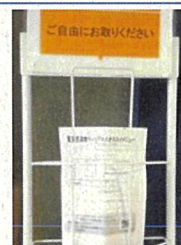
巡回点検



AED研修

#### 利用者サポート（初回の方～継続の方）体制の充実

- ・初めての利用者にはウォーミングアップからクールダウンまでの「ベーシックトレーニングメニュー」を配布し、希望者にはより詳細な内容を案内します。
- ・利用者が利用時間を選べるよう「Twitter」や「混雑ランプ」で施設の混雑状況を常に発信します。
- ・目的やレベルに応じたトレーニング方法をアドバイスするとともに、本格的なトレーニングの希望者にはパーソナルトレーナーをおすすめします。



トレーニングメニュー設置



混雑ランプ

#### 障害のある利用者へのサポート

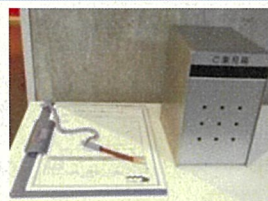
- ・合理的配慮を理解し、障害をお持ちの方が不便なくトレーニングできるよう、スタッフに「障がい者スポーツ指導員養成講習会」への参加を促して理解を深め、継続的に運動ができる環境を提供します。
- ・車でご来館された場合、入場導線を駐車場からの最短距離でご案内するなど入場時のフォローを行います。



インターホン

#### 利用者の要望に的確に対応

- ・ご意見箱の設置とスタッフ巡回時の声掛けで積極的に利用者の声を収集し分析を行い、機器類の配置やプログラムの変更などを行います。
- ・混雑する器具類を予約制として、秩序ある利用方法を構築し、トレーニング中の手荷物置き棚を設置するなど、ご要望を受け速やかな改善を行うことで、利用者の快適性を高め満足度向上につなげていきます。
- ・利用者の要望を的確にとらえ、仕事帰りにもゆとりを持って利用できるよう、トレーニングルームの平日・土曜の開場時間は、22時までの延長を継続します。



ご意見箱



棚設置

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

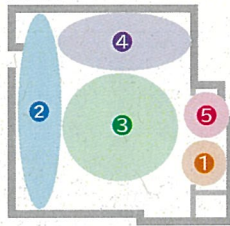


## 2 トレーニングルームの配置計画

### あらゆるユーザーが快適に利用できる機器類の配置

- ・トレーニング初心者からハードユーザーまで、あらゆる層の利用者が気軽に楽しくトレーニングができるよう、効果によるエリアを分けた適切なゾーニングを継続します。
- ・これまでの利用動向から現在のマシン台数は維持しつつ、レイアウトの工夫により利用者数の多いフリーウェイトエリアの拡張を行います。
- ・指定管理期間中にトレーニングマシンを最新のものに入替え、より快適な利用空間を提供します。

配置図



① フリースペース  
・運動前後にストレッチを行うエリア  
・ショートプログラム(主に有酸素系プログラム)を実施するエリア



② 有酸素系エリア  
体脂肪燃焼や心肺機能向上に効果的なトレーニングのためのエリア



③ 筋力マシンエリア  
筋力維持・アップを目的としたトレーニングエリア



④ フリーウェイトエリア  
バーベルを使用したトレーニングを目的としたエリア



⑤ リラクゼーションエリア  
リラクゼーションを目的としたエリア

トレーニングルームゾーニング

## 3 多様なサービス展開の継続

### トレーニングメニューづくりのサポート

- ・初めての方とは別に、個人利用者の目的・レベルに合ったトレーニング方法についてのアドバイスを継続します。
- ・武道種目別のトレーニングメニューを作成し、トレーニングルーム及び武道館内に掲示することで個人利用施設相互の利用促進を図ります。
- ・月に約30回実施しているパーソナルトレーナーの設置を継続します。目的に合わせてマンツーマン指導(有料)を行います。
- ・自身の体成分(骨量・体脂肪量等)を知ることができる「体成分測定機器」を1台設置します。測定結果に基づくアドバイスにより利用者に最適な運動プログラムのご提案を行い、継続利用につなげます。 **NEW**



パーソナルトレーナー

### スタジオプログラム(自主事業)の継続

- ・誰でもが、楽しく運動できる機会を提供するためスタジオプログラムを継続します。
- ・また、本施設の和研修室や弓道場芝生面などを活用しヨガなどのプログラムを新たに実施します。 **NEW**



スタジオプログラム

### キャッシュレス対応券売機の継続

- ・事業団ICカード、クレジットカード、QRコード決済等が利用できるキャッシュレス券売機を導入し、継続的な利用促進を図りリピーターを拡大します。



事業団ICカード対応ゲート



キャッシュレス券売機

## 4 トレーニングルームの新たな活用

### 地域拠点としての活用

- ・本施設に隣接する や本施設の外周をランニングしたい方のために、 トレーニングルーム内のロッカー及びシャワーのみの使用を可能とするランニングステーション(有料)を開設し、新たな利用者の獲得を目指します。 **NEW**
- ・近隣のランニングスポットや屋外で運動できる施設の案内をトレーニングルーム内に掲出し、本施設周辺で気軽にできる運動を促すなどの情報を積極的に発信します。 **NEW**

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



(2) 武道相談業務

**最高レベルの武道師範による的確な助言・指導を実施します**

- 武道の普及振興に寄与することを目的に武道全般に関する相談に対応します
- 武道師範には、「教士」以上の称号を有する指導実績に優れた最高レベルの指導者を配置し、初心者から高段者、指導者など幅広い相談に対応します
- 3期17年の実績を生かして東京都の政策に柔軟に対応し、武道、スポーツ愛好者のみならず、多様な人々が集い活動する施設に発展させていきます



**1 武道相談の実施体制**

**武道振興の拠点として、武道に関するあらゆる相談への確に対応**

- ・「柔道」・「剣道」・「弓道」について、**武道師範**を配置し「**武道相談業務**」を行います。
- ・**武道師範**は、東京都における武道統括団体の推薦を受け「**教士**」以上の称号所有者（もしくは同等のもの）を配置します。
- ・高度な技術と識見、豊富な実績を有する**武道師範**が初心者の武道に対する基礎的知識から経験者の技術向上、昇段・昇級・武具の手入れ方法に関することなど、様々な相談に的確に対応します。
- ・3期17年継続して実施している「**武道相談**」は、武道家間では広く認知され初心者から有段者まで、また、より幅広い年代層からご利用をいただいております。特に、指導者層からの相談に応じ**指導スキルを向上させることで武道のすそ野拡大**に寄与していきます。

**【実施日数】**

- ・柔道・剣道・弓道の各種目とも年間90日以上実施します。また、種目ごとに相談日を**事前に周知**し、相談者の計画が立てやすいように配慮します。
- ・相談時間帯については、働き盛り世代が利用しやすい夜間等の時間帯に**拡げ**ていきます。

**【その他各武道の相談にも対応】**

- ・柔道・剣道・弓道以外の種目の相談については、スポーツ振興事業で行う各種目の「**広域合同稽古**」の前後に、講師を通じて相談に応じられる仕組みとし、幅広い種目について、都民からの相談に対応していきます。

**2 武道相談の実施日数等**

- ・武道相談は表のとおり実施します。

種目	実施日	利用料金	利用方法	実施日数
柔道	原則水曜日の午後 他		事前予約 及び 当日来館	90日以上
剣道	原則金曜日の午後 他			
弓道	原則火曜日の午後 他			
その他の種目	各種目「広域合同稽古」と同じ		当日来館	50日以上

武道相談実施

**3 利用促進、円滑な実施に向けた取組み**

- ・本施設ホームページやTwitter、代表団体Aが運営している広報誌「スマイルスポーツ」に掲載し利用の周知を図ります。
- ・本施設利用者、各種武道団体、東京都高等学校体育連盟、東京都中学校体育連盟などに周知し、利用を促進します。
- ・「**武道相談記録簿**」を作成し、**相談内容を相談者の種目別・レベル別で体系的に管理**し、相談内容から得られる利用者のニーズを的確にスポーツ振興事業等に反映させていきます。
- ・特に相談頻度の高い内容を整理し「**施設利用者向けの情報コーナー**」での閲覧や本施設ホームページなどに掲載など、武道愛好者が知りたい情報にアクセスできるようにします。 **NEW**

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



(1) 受付案内

誰もが安心して快適に利用できる受付・案内・相談サービスの充実を図ります

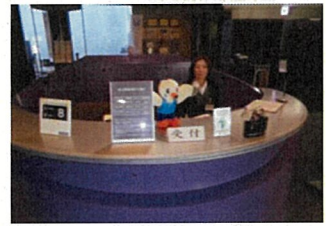
- 経験豊富なスタッフの柔軟な対応により利用者へのスムーズな案内を実施します
- 「未来の東京」戦略に掲げられている「段差のない社会」の実現に向け、スタッフ一人ひとりが多様な利用者の視点に立ち、心遣いが伝わるユニバーサルなサービスを提供します
- 利用者からの声に迅速に対応できる体制を整え、ユーザビリティの向上を図ります



1 快適に施設を利用できる受付体制

総合受付の設置によるスムーズな利用者対応

- ・団体利用者から個人利用者まで幅広い利用者に対し、的確な案内・受付が行えるよう正面玄関に**総合受付**を設置します。
- ・利用者受付を団体・個人利用問わず総合受付に一元化することで利用者が**ワンストップでスムーズに入館**できるようにします。
- ・新規団体予約希望者や主催事業参加希望者からの相談窓口としても役割を發揮します。また、別部門の団体利用窓口との連携を行うことで初めての団体にも安心してご利用いただける対応を行います。



総合受付

2 高品質なサービスを提供する受付案内

多様なニーズに対応するインフォメーション機能の強化

- ・業務経験豊富なスタッフを配置することで、利用者ニーズに対し最適切かつ柔軟な対応を行い、全ての利用者が安心して快適に施設を利用できる環境を提供します。

①障害のある方への対応

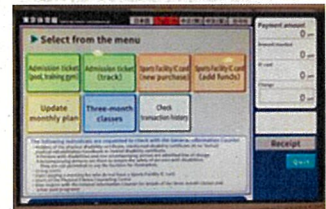
- ・受付に耳マークの掲示や筆談ツールの設置、車いすの無料貸出しを継続して行います。
- ・総合受付では要望等の聴き取りを丁寧に行い、必要に応じて警備員と連携した動線の確保や目的地までの誘導等を行うことで全ての利用者が安心して施設を利用できる環境を整えます。



警備員による誘導

②外国人等の来館を想定した対応

- ・ホームページ・施設内の券売機の多言語対応や、多言語翻訳アプリケーションウェアの導入・活用により**言語のバリアフリー**を図ります。
- ・外国人を含め誰が見ても分かりやすい表示としてピクトグラムを引き続き設置し、ユニバーサルデザイン環境を整備します。



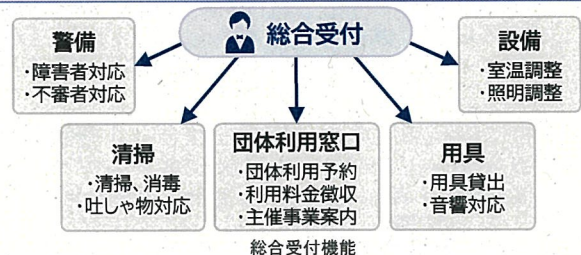
多言語対応の券売機

ユニバーサルなサービス提供に向けた取組

- ・ハード面の整備により法令等に基づく基準を満たすだけでなく、誰もが利用しやすい施設を目指し、利用者からの多様な意見・要望に真摯に向き合い改善を重ねていきます。
- ・定期的な接遇研修会の実施や**サービス接遇検定の資格取得**推進を行うことで受付スタッフのより一層の接遇力向上を目指します。

各部門との協力・連携によるユーザビリティの向上

- ・即座に対応することのできる利用者からの要望については、総合受付スタッフが司令塔となりトランシーバーを用いて各部門へ指示を展開し、迅速に対応します。
- ・部門間の連携を強化することで利用者の声に寄り添い**ユーザビリティの向上**を図ります。



事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



提案課題 2〔施設の提供、運営に関する業務〕 3 施設内サービス

(2) 苦情・要望等に対する対応

サービス向上のための貴重なソースである利用者の声をより良い施設運営に反映します

- 積極的に利用者の声を収集すると共に、いただいた意見等は組織的に他施設の状況等分析の上、業務改善に活用します
- 苦情や要望等に対しては、今後の施設運営の理解と協力を直接的にいただける機会と捉え、対応結果の報告など説明責任を十分に果たしていきます

1 苦情・要望への具体的な対応方法

利用者の声を広く収集

- ・感染症対策など遵守事項が増えることに伴い、様々なご意見をいただく機会が増えています。対応するスタッフの正しい知識を身につけ、コミュニケーション能力を高めることにより、利用者と共に新しい運営のあり方を築きあげていきます。
- ・代表団体Aは、複数施設を管理運営していることから、各施設での苦情や要望、対応状況等について月1度の各施設長等を集めた経営会議などで共有し、同様の苦情等の未然防止を図ります。
- ・収集した苦情、要望等は館内各部門責任者に即座に共有します。また、部門間の調整が必要な内容については、館内連絡会や館長の承認を経て、改善策を決定し対応します。
- ・苦情・要望・対応事例をデータベース化し、収集したデータの分析に基づき改善案を検討の上、当グループが管理している他施設も含めた改善を行い PDCA サイクルによりグループ全体のサービス水準の向上につなげます。

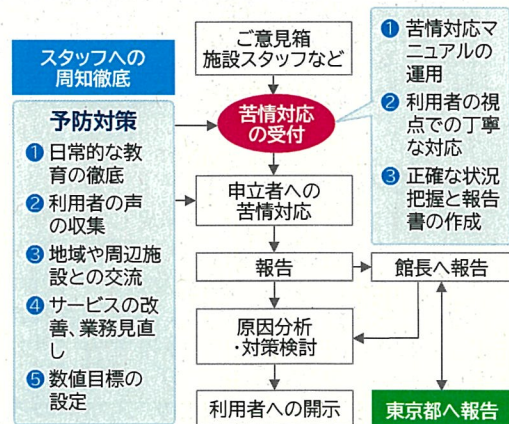
利用者の声の収集方法

収集方法	頻度	対象	内容
ホームページによる受付	毎日	利用者	休館日・営業時間外でも本施設ホームページから苦情・要望を受付ける体制をとります。
館内 QR コードによるウェブアンケート受付	毎日	利用者	館内設置の QR コードからウェブアンケートによりご意見を受け付けます。
館内アンケート箱の設置	毎日	利用者	アンケート箱と記入用紙・筆記用具を設置し、デジタル機器を使用しない利用者からも苦情・要望を受け付けます。
利用団体等へのヒアリング(専用使用施設)	随時	団体利用者	利用者団体との打合せの際などに、大会・イベント主催者の視点から見た意見・要望を収集します。
利用者懇談会の開催	1回/年	団体利用者	利用者から直接意見を伺うために利用者懇談会を実施し、運営方法などについて共に検討します。
スタッフによる声の収集	毎日	利用者	スタッフによる利用者との日常的なコミュニケーションを通じて、生の声を収集します。
利用者満足度調査の実施	1回/年	利用者	運営の指標として利用者の満足度を調査するために、定期的に利用者満足度調査(アンケート調査)を実施します。

利用者の声の収集方法

苦情等の反映・改善の仕組み

- ・苦情等に対する対応策については、東京都へ情報共有するとともに、利用者に対して内容及び改善策を施設内掲示などで公表し、都立スポーツ施設としての説明責任を果たします。
- ・代表団体Aが管理している都立スポーツ施設の代表が集まる経営会議及び東京都で実施するパートナーシップ会議で事例を共有することで、本施設を含めた都立スポーツ施設全体の対応スキルの水準向上を図ります。
- ・職員やスタッフは接遇研修や OJT 教育を充実し、より一層のサービスレベルの向上につなげます。



苦情の反映、改善の仕組み

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



(1) スポーツ振興事業

「スポーツフィールド東京」実現に向け、誰もが参加できる効果的な  
35の事業を展開します

- 興味・関心を喚起するなど武道を始めるきっかけを提供し、武道のすそ野を広げます
- パラスポーツ体験教室やボランティアサポートを通して、障害者スポーツの理解と普及に寄与します
- 仕事終わりに参加可能な事業を実施し、働き盛り世代等のスポーツ実施率向上に寄与します
- 武道団体と連携し競技力向上、指導者育成に寄与します

1 事業実施における基本的な方針

・「東京都スポーツ推進総合計画」「TOKYO スポーツレガシービジョン」を踏まえ、**東京 2020 大会のレガシーと18スポーツ施設ネットワーク**を活用し、都民のスポーツ実施率70%の実現に寄与します。各事業では、年齢や健康状態、技術、興味、目的に応じ、誰もが生涯を通じて武道・スポーツに親しみ、楽しむことができるよう、**武道・スポーツへの関わりを促進**します。

2 スポーツ振興事業 施策に合致した多様な事業を展開

武道・スポーツをする・みる・支える機会を提供

【するスポーツの促進】

- ・ 幼児や子供を対象に、遊びを取り入れた「親子武道体験」を実施し、武道を始めるきっかけづくりを行います。
- ・ 武道の伝統行事である新年最初の「稽古はじめ」と、新年を祝う「鏡開き」を通して、稽古の継続意欲を高めます。
- ・ **東京武道館武道協議会**の協力を得て、小学生以上の武道愛好者の誰もが参加できる「**東京武道館杯**」を開催します。
- ・ 武道に興味を持つ女性を対象に、武道の素晴らしさや楽しさを知る機会を提供する「**女性のための武道体験**」を実施します。 **NEW**
- ・ 武道に興味を持つ障害のある人を対象に、楽しみながら武道に触れ、武道の精神を理解することにより、武道を始める機会を提供する「**障害者のある人のための武道体験**」を実施します。
- ・ 親しみやすい遊びである「チャンバラ」を「スポーツ」にした「**スポーツチャンバラ**」などのレクリエーションから、障害のあるなしに関わらず誰もが武道に興味を持ち、楽しめるきっかけづくりとなる「**武道館で BUDO(仮称)**」事業を実施し、武道のすそ野を広げます。 **NEW**



東京武道館杯

【みるスポーツの振興】

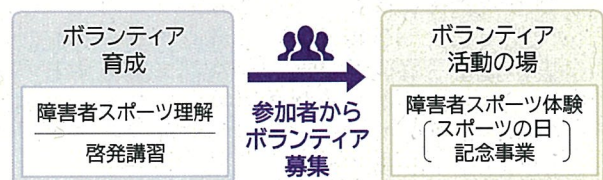
- ・ 競技団体と連携して、本施設でのトップレベルの大会を楽しむ「**トップスポーツ観戦事業**」を実施し、武道・スポーツへの意欲と関心を高めます。
- ・ 先述した本施設に増設する**高速通信規格のWi-Fi**を通じて、外部への映像配信も、より速く、快適に、高セキュリティ下で配信できる環境を提供します。

大会名	主催
寛仁親王杯剣道八段選抜大会	一般財団法人東京都剣道連盟
東京都柔道選手権大会	公益財団法人東京都柔道連盟
全日本空手道選手権大会（団体戦）	公益財団法人全日本空手道連盟

トップスポーツ観戦事業実績

【支えるスポーツの推進】

- ・ 東京 2020 大会によって普及したボランティアの活動は大会の**最大のレガシー**の一つです。ボランティア活動普及のため、「障害者スポーツ理解・啓発講習」に参加された方から、本施設に来館される障害者等にサポートしていただくボランティアを募集し、活動の機会を提供することにより、**スポーツを支える人・支えたい人の活動を後押し**します。



ボランティア活躍の場のサイクル

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



**実施対象を明確化した事業展開**

**①子供のスポーツ推進**

・「青少年武道錬成大会」「青少年広域武道稽古」など7事業で武道団体と連携し、武道の基本技術や礼儀作法を学ぶ機会を提供することで、青少年の健全な育成に資するとともに、生涯にわたり武道を続けていくための基礎を育みます。

**②働き盛り・子育て世代のスポーツ推進**

・武道団体と連携して実施する「武道広域合同稽古」6事業は、仕事帰りに参加可能な時間帯に定期的開催することで日常的に武道に接する機会を提供し、働き盛り世代等のスポーツ実施率の向上と地域の武道振興の核となる人材育成に寄与します。

**③女性のスポーツ振興**

・東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場と連携して開催している「東京武道館女性バレーボール交流会」は、競技団体の協力を得て、地域で活動するバレーボール愛好者による交流試合として継続して実施していきます。

**④シニアのスポーツ推進**

・生涯にわたり実践できるスポーツとして武道をより多くの方に親しんでいただくため、「シニアのための武道体験」等を実施します。アンチエイジングとして、シニア世代が武道を気軽に実践できる機会を提供し、武道の習慣化を促進します。

**⑤障害者のスポーツ推進**

・との協働により「理解・啓発講習会」を実施するほか、「障害のある人のための武道体験」を実施します。また、誰でも参加できるボッチャ等の体験教室を「障害者スポーツ普及講習」にて実施し、障害者と健常者が一緒にスポーツを楽しめる環境を創ります。

**競技力向上への寄与**

- ・武道団体の協力を得て、現役選手を中心とした有段者を対象に、技能及び指導実績の優れた高段位指導者から指導を受ける「剣道広域合同稽古」を実施し、競技力向上に寄与します。
- ・武道団体と連携し、次世代を担うジュニア選手を対象に、同世代選手との稽古及び高段位指導者から指導を受ける「武道強化練習会」を実施し、競技力向上に寄与します。

**指導者の育成、資質向上への寄与**

- ・各武道団体と連携し、各武道の指導者・有段者を対象として、指導技術向上のための「弓道錬成講習会」などの7事業を実施し、指導者の育成を図り、もって競技力向上へ寄与することで、より一層の武道振興に貢献します。
- ・中学校武道必修化サポートのため、中学校保健体育教員を対象として柔道の指導技術と安全管理能力の向上を図る「中学校武道必修化サポート『技術向上支援』」を行っています。今後は、柔道以外の種目も検討し、対象となる教員を広域的に受入れ、中学校武道授業のサポートを強化していきます。



弓道錬成講習会

**3 円滑な事業実施に向けた体制について**

**安全管理の徹底**

- ・運営スタッフは、本施設における安全管理体制及び緊急時対応などを熟知した上で、指導・運営に当たります。
- ・参加者の安全確保を最優先し、実施プログラムにふさわしい指導員・補助員の配置を行います。

**受付方法**

- ・電話、郵送及び窓口等による申込に加え、代表団体Aの事業予約サイト「スマイルスポーツ」から24時間いつでも対応できる体制を維持します。
- ・デジタル媒体を活用した情報発信を充実させ、都民のスポーツをしたいという気持ちに訴求するとともに、事業申込と参加手続のオンライン化によるDX推進を実施します。

**4 効果的な事業としていくための取組**

**デジタルポイント付与により都民のスポーツ習慣化をサポート**

- ・代表団体Aは「スポーツ気運継承事業」として、18施設等で開催されるスポーツイベントに参加した方にデジタルポイントを付与し、景品と交換できるスタンプラリーを実施します。また、年度末に開催する「スポーツ交流フェスタ(仮称)」では、ポイント獲得者に景品を贈呈します。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

単位：千円

◆ 内容

NO	事業名及び内容	対象層	時期 回数	1事業当たり		収支計画										
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※	収入合計	参加料	協賛金	その他※			
1	青少年武道錬成大会 (公財)日本武道館との共催事業として、東京都における武道の普及・振興及び青少年の健全育成を図るため、武道を学ぶ青少年に対して、正しい基本技術を習得するとともに、心身の鍛錬、参加者相互の親睦を図り、技術の向上に寄与する。	子供	第2 四半期	100												
			1回 (2日)													
2	青少年広域武道稽古(剣道) 小・中学生の剣道初心者、初級者を対象に、剣道の基本技術や礼儀作法等を学ぶ機会を提供し、剣道技術の向上と心身の鍛錬、青少年の健全育成を図るとともに、生涯に渡る武道実践の基礎を育むことに寄与する。	子供	通年	1回 20												
			35回 (各1日)													
3	青少年広域武道稽古(柔道) 小・中学生の柔道初心者、初級者を対象に、柔道の基本技術や礼儀作法等を学ぶ機会を提供し、柔道技術の向上と心身の鍛錬、青少年の健全育成を図るとともに、生涯に渡る武道実践の基礎を育むことに寄与する。	子供	通年	1回 20												
			35回 (各1日)													
4	武道系部活動合同稽古(剣道) 東京都高等学校体育連盟の協力を得て、高校剣道部のリーダーを対象に、他校生徒と交流を深めながら剣道技術、武道精神等を学ぶ合同稽古の機会を提供し、技術の向上、リーダーとしての能力向上を図り、運動部活動の活性化に寄与する。	子供	通年	2回 50												
			3回 (各1日)										1回 300			
5	武道系部活動合同稽古(なぎなた) 東京都なぎなた連盟、東京都中学校体育連盟及び東京都高等学校体育連盟の協力を得て、小・中・高校のなぎなた部のリーダーを対象に、他校生徒と交流を深めながらなぎなた技術、武道精神等を学ぶ合同稽古の機会を提供し、技術の向上、リーダーとしての能力向上を図り、運動部活動の活性化に寄与する。	子供	第2-3 四半期	1回 100												
			2回 (1日)													
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 「f6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。				実施回数		参加人数	支出合計①					収入合計②				
<b>総合計</b>																



提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	対象層	時期 回数	1 事業当たり		収支計画							
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※	収入合計	参加料	協賛金	その他※
6	武道系部活動合同稽古(少林寺拳法) 東京都少林寺拳法連盟、東京都高等学校体育連盟の協力を得て、中・高校の少林寺拳法部のリーダーを対象に、他校生徒と交流を深めながら少林寺拳法技術、武道精神等を学ぶ合同稽古の機会を提供し、技術の向上、リーダーとしての能力向上を図り、運動部活動の活性化に寄与する。	子供	第2・3 四半期	1回 80		支出合計							
			2回 (1日)			収入合計		参加料	協賛金	その他※			
7	武道系部活動合同稽古(弓道) 東京都弓道連盟、東京都高等学校体育連盟の協力を得て、高校弓道部のリーダーを対象に、他校生徒と交流を深めながら弓道技術、武道精神等を学ぶ合同稽古の機会を提供し、技術の向上、リーダーとしての能力向上を図り、運動部活動の活性化に寄与する。	子供	第3 四半期	1回 80		支出合計							
			1回 (1日)			収入合計		参加料	協賛金	その他※			
8	柔道広域合同稽古 柔道の初心者から経験者、指導者を目指す方を対象に、習熟レベルに合わせた基本技術から応用技術、礼儀作法の指導など、武道に触れる機会を提供し、柔道技術の向上とともに武道の日常化を図り、スポーツ実施率の向上と都内各地域における武道振興の核となる人材の育成に寄与する。	働き盛り世代 子育て世代	通年	1回 30		支出合計							
			30回 (各1日)			収入合計		参加料	協賛金	その他※			
9	弓道広域合同稽古 弓道の初心者から経験者、指導者を目指す方を対象に、習熟レベルに合わせた基本技術から応用技術、礼儀作法の指導など、武道に触れる機会を提供し、弓道技術の向上とともに武道の日常化を図り、スポーツ実施率の向上と都内各地域における武道振興の核となる人材の育成に寄与する。	働き盛り世代 子育て世代	通年	1回 60		支出合計							
			30回 (各1日)			収入合計		参加料	協賛金	その他※			
10	なぎなた広域合同稽古 なぎなたの初心者から経験者、指導者を目指す方を対象に、習熟レベルに合わせた基本技術から応用技術、礼儀作法の指導など、武道に触れる機会を提供し、なぎなた技術の向上とともに武道の日常化を図り、スポーツ実施率の向上と都内各地域における武道振興の核となる人材の育成に寄与する。	働き盛り世代 子育て世代	通年	1回 30		支出合計							
			32回 (各1日)			収入合計		参加料	協賛金	その他※			
						支出合計①							
						収入合計②							
<b>総計</b>						参加人数							

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

単位：千円

NO	事業名及び内容	対象層	時期 回数	1事業当たり		収支計画						
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※	収入合計	参加料	協賛金
11	居合道広域合同稽古 居合道の初心者から経験者、指導者を目指す方を対象に、習熟レベルに合わせた基本技術から応用技術、礼儀作法の指導など、武道に触れる機会を提供し、居合道技術の向上とともに武道の日常化を図り、スポーツ実施率の向上と都内各地域における武道振興の核となる人材の育成に寄与する。	働き盛り世代 子育て世代	通年	1回								
			12回 (各1日)	60								
12	杖道広域合同稽古 杖道の初心者から経験者、指導者を目指す方を対象に、習熟レベルに合わせた基本技術から応用技術、礼儀作法の指導など、武道に触れる機会を提供し、杖道技術の向上とともに武道の日常化を図り、スポーツ実施率の向上と都内各地域における武道振興の核となる人材の育成に寄与する。	働き盛り世代 子育て世代	通年	1回								
			6回 (各1日)	40								
13	合気道広域合同稽古 合気道の初心者から経験者、指導者を目指す方を対象に、習熟レベルに合わせた基本技術から応用技術、礼儀作法の指導など、武道に触れる機会を提供し、合気道技術の向上とともに武道の日常化を図り、スポーツ実施率の向上と都内各地域における武道振興の核となる人材の育成に寄与する。	働き盛り世代 子育て世代	通年	1回								
			6回 (各1日)	40								
14	東京武道館女性バレーボール交流会 9人制バレーボールチームを対象に、日頃の練習の成果を発揮し、他地区のチームと交流を図る機会を提供する。本事業は、駒沢オリンピック公園総合運動場において同様な交流会を実施し、フアィナル交流会を東京体育館(申請中)で行い、働き盛り・子育て世代のクラブにおける広域的な交流に寄与する。	働き盛り世代 子育て世代 女性	第3 四半期	36								
			1回 (3日)	チーム								
			第4 四半期	30								
15	シニアのための武道体験 武道に経験の少ないシニア世代を対象に、身体を動かす楽しさや武道の素晴らしさを知る機会を提供し、武道の技能や精神の理解を促し、体力の向上と武道の習慣化に寄与する。また、日常の継続化を図るために、他業種との連携推進を図る。	高齢者	第4 四半期	2回								
			2回 (1日)	1回								
				実施回数	参加人数	支出合計①						
						収入合計②						
<b>総合計</b>												

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 「6 取支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	対象層	時期 回数	1事業当たり		収支計画							
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※	収入合計	参加料	協賛金	その他※
16	障害者スポーツ理解・啓発講習 武道、スポーツ関係者等を対象に、障害者スポーツを知り、学ぶ機会を提供し、障害者及び障害者スポーツの特性や素晴らしの理解を促し、地域スポーツを支える担い手づくり、地域における障害者スポーツの取り組みの広がりに寄与する。	指導者 働き盛り世代 子育て世代 障害者	第1 四半期	40		支出合計	講師費用	材料費	その他※	収入合計	参加料	協賛金	その他※
			1回 (1日)			支出合計	講師費用	材料費	その他※	収入合計	参加料	協賛金	その他※
17	障害者スポーツ普及講習 武道、スポーツ関係者等を対象に、パラリンピック等の障害者スポーツ種目を体験する機会を提供し、障害者スポーツの楽しさや奥深さの理解を促し、障害者スポーツの普及、地域における障害者スポーツへの取り組みの広がりに寄与する。	指導者 働き盛り世代 子育て世代 障害者	第1 四半期	40		支出合計	講師費用	材料費	その他※	収入合計	参加料	協賛金	その他※
			1回 (1日)			支出合計	講師費用	材料費	その他※	収入合計	参加料	協賛金	その他※
18	障害のある人のための武道体験 武道に興味を持つ障害のある人を対象に、武道の素晴らしさや楽しさを知る機会を提供し、楽しみながら武道に触れ、武道の精神を理解することにより、武道を始めのきっかけづくりにする。	障害者	第4 四半期	20		支出合計	講師費用	材料費	その他※	収入合計	参加料	協賛金	その他※
			1回 (1日)			支出合計	講師費用	材料費	その他※	収入合計	参加料	協賛金	その他※
19	親子武道体験 武道に興味を持つ子供を対象に、武道の素晴らしさや楽しさを知る機会を提供し、楽しみながら武道に触れ、武道の精神を理解することにより、武道を始めのきっかけづくりに寄与する。	子供 働き盛り世代 子育て世代	第4 四半期	15組 30名		支出合計	講師費用	材料費	その他※	収入合計	参加料	協賛金	その他※
			1回 (1日)			支出合計	講師費用	材料費	その他※	収入合計	参加料	協賛金	その他※
20	武道館でBUDO(仮称) 「スポーツチャランバラ」などの、障害のあるなしに関わらず楽しめる、親しみやすいレクリエーションを通じて、誰もが武道に興味を持ち、運動をするきっかけづくりに寄与する。	子供 働き盛り世代 子育て世代 障害者 高齢者	第3 四半期	1回 30		支出合計	講師費用	材料費	その他※	収入合計	参加料	協賛金	その他※
			1回 (1日)			支出合計	講師費用	材料費	その他※	収入合計	参加料	協賛金	その他※
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。						支出合計①				収入合計②			
						実施回数		参加人数		総合計			

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

単位：千円

NO	事業名及び内容	対象層	時期 回数	1事業当たり		収支計画								
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※	収入合計	参加料	協賛金	その他※	
21	女性のための武道体験 武道に興味を持つ女性を対象に、武道の素晴らしさや楽しさを知る機会を提供し、楽しみながら武道に触れ、武道の精神を理解することにより、武道を始め始めるきっかけづくりに寄与する。	女性 働き盛り世代 子育て世代	第1 四半期	50										
			1回 (1日)											
			支出合計										講師費用	材料費
22	武道稽古はじめ 東京武道館利用者をはじめ一般都民を対象に、武道の伝統行事である新年最初の「稽古はじめ」と新年を祝う「競開き」を実施し、伝統文化の継承とともに、武道の継続意欲の喚起、武道を行うきっかけづくりに寄与する。	子供 働き盛り世代 子育て世代 高齢者	第4 四半期	60										
			1回 (1日)											
			支出合計										講師費用	材料費
23	東京武道館杯 東京都の武道統括9団体が構成される「東京武道館武道協議会」と連携し、小学生以上の武道愛好家を対象に、日頃の鍛錬の成果を発揮する場として、試合及び演武等の総合武道大会を実施し、都における一層の武道振興に寄与する。	子供 働き盛り世代 子育て世代	第4 四半期	600										
			1回 (1日)											
			支出合計										講師費用	材料費
24	トップスポーツ観戦事業 競技大会の主催者の協力を得て、一般都民に対し、トップアスリートの競技を「観る」機会を提供し、武道・スポーツへの意欲と関心を高め、生涯に渡る武道・スポーツ実践のきっかけに寄与する。	子供 働き盛り世代 子育て世代 高齢者 障害者	第1~4 四半期	1回 30										
			3回 (1日)											
			支出合計										講師費用	材料費
25	武道強化練習会 武道団体と連携し、次世代を担うジュニア選手を対象に、同世代選手との稽古及び高段位指導者から指導を受ける強化練習会を実施し、競技力向上に寄与する。(武道団体：指導者派遣、事業周知、募集、館：会場提供※第一or第二武道場)	子供 指導者	第4 四半期	30										
			1回 (1日)											
			支出合計										講師費用	材料費
		総合計	実施回数	参加人数	支出合計①					収入合計②				
			-	-										

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	対象層	時期 回数	1事業当たり		収支計画							
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※	収入合計	参加料	協賛金	その他※
26	剣道広域合同稽古 (一財)東京剣道連盟の協力を得て、現役選手から指導者までの有段者を対象に、技能及び指導実績の優れた高段位指導者から指導を受ける機会を提供し、剣道の競技力向上に寄与する。	働き盛り世代 子育て世代 指導者	通年	1回 100									
			12回 (各1日)										
27	地域社会武道指導者研修会 (公財)日本武道館との共催事業として、武道指導者を対象に、正しい武道の技術や指導方法について、知識と技術両面の研修を通して、質の高い指導者の育成に寄与する。	指導者	第4 四半期	40									
			1回 (2日)										
28	居合道練成講習会 (一財)東京剣道連盟居合道部会の協力を得て、居合道の指導者・有段者を対象に、技能及び指導実績の優れた高段位指導者からの指導機会を提供し、居合道に関する知識と指導技術の能力向上を図り、指導者の育成に寄与する。	指導者	第4 四半期	40									
			1回 (1日)										
29	なぎなた練成講習会 東京都なぎなた連盟の協力を得て、なぎなたの指導者・有段者を対象に、技能及び指導実績の優れた高段位指導者からの指導機会を提供し、なぎなたに関する知識と指導技術の能力向上を図り、指導者の育成に寄与する。	指導者	第4 四半期	40									
			1回 (1日)										
30	合気道練成講習会 ※隔年で武道 東京都合気道連盟の協力を得て、合気道の指導者・有段者を対象に、技能及び指導実績の優れた高段位指導者からの指導機会を提供し、合気道に関する知識と指導技術の能力向上を図り、指導者の育成に寄与する。	指導者	第4 四半期	40									
			1回 (1日)										
				支出合計①		講師費用		材料費		その他※			
				収入合計②		参加料		協賛金		その他※			
<b>総合計</b>				参加人数		参加人数							

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 「f」収支計画(1)及び(2)の金額と一致すること。

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業内容及び内容	対象層	時期 回数	1事業当たり		収支計画						
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※	収入合計	参加料	協賛金
31	空手道錬成講習会 ※隔年で少林寺拳法 (一社)東京都空手道連盟の協力を得て、空手道の指導者・有段者を対象に、技能及び指導実績の優れた高段位指導者からの指導機会を提供し、空手道に関する知識と指導技術の能力向上を図り、指導者の育成に寄与する。	指導者	第4 四半期	30								
			1回 (1日)									
32	弓道錬成講習会 東京都弓道連盟の協力を得て、弓道の指導者・有段者を対象に、技能及び指導実績の優れた高段位指導者からの指導機会を提供し、弓道に関する知識と指導技術の能力向上を図り、指導者の育成に寄与する。	指導者	第3・4 四半期	40								
			1回 (10日)									
33	古流剣道形研修会 (一財)東京都剣道連盟との共催事業として、剣道の有段者等を対象に、日本古来の剣道の「形」を学ぶ機会を提供し、古流剣道形の伝統を継承、普及する知識と指導技術の能力向上を図り、指導者の育成に寄与する。	指導者	通年	10								
			35回 (各1日)									
34	技術向上支援 中学校保健体育教員を対象に、円滑な武道学習を展開するための支援事業を実施し、武道授業における指導技術や安全管理の能力向上を図り、中学校武道授業の充実に寄与する。(足立区教育委員会指導部及び東京都教育委員会と連携)	指導者	通年	20								
			2回 (各1日)									
					支出合計①							
					収入合計②							
		<b>総合計</b>	実施回数	参加人数								
			270	10,220								

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。



(2) スポーツの日記念事業

**ボランティアの活躍の場を提供、武道・スポーツのきっかけづくりや公開指導等のプログラムを実施します。また、地元商店街等とも協力し、地域に愛される「地域のイベント」を育てていきます**

- 周辺施設や地元商店街と連携し、綾瀬地区一帯での地域の賑わいを創出します
- 東京 2020 大会のレガシーを継承するためのプログラムを実施します
- ボランティアを活用し、“人”がつなぐレガシー継承を実施します
- 代表団体Aが管理する施設の横ぐし連携企画により、「スポーツ気運継承事業」を盛り上げます

1 スポーツの日記念事業の実施方針

**地元自治体、警察、商店街等とも協力し、地域に愛されるイベントを育てます**

- ・ 地域連携として、地元官公庁、警察、商店街等の協力を得て、広場へのブース展開など、**綾瀬地域が一体**となった形で開催します。
- ・ 地元商店街へのポスター掲出と共に、協力店舗ではチラシ持参者への割引サービスなどの協力をしていただき、相互に集客を図るなど、地元と一体となった事業を実施します。
- ・ (一社) 東京都レクリエーション協会の協力を受け、ニュースポーツ体験プログラムを実施するなど、武道以外の視点も取り入れ、普段スポーツをしない方との交流、イベントを通じた地域の活性化に貢献します。

**東京 2020 大会のレガシー継承としてオリンピック等による特別稽古を実施**

- ・ 東京 2020 大会時の盛り上がりを感じられる、オリンピック等のトップアスリートによるトークショーや特別稽古を行い、都民のスポーツへの興味・関心を一層高めます。

**ボランティア活躍の場の提供**

- ・ 「障害者スポーツ普及講習会」受講者や東京 2020 大会ボランティアを、本施設イベントでのボランティアとして活動する機会を提供するなど、ボランティア文化の定着と共助社会の実現を目指します。

2 具体的なプログラム展開

**来館者の誰もが満足できる幅広いプログラム**

- ・ 武道・スポーツになじみのない方に武道・スポーツの魅力を発信し、都民のスポーツへの興味・関心をより一層高めるため、**豊富なプログラムを実施**します。
- ・ 当日は、通常有料となっているトレーニングルーム等の**個人使用施設を無料で開放**します。
- ・ 東京 2020 大会のアスリートを迎え「**トークショー**」や青少年との「**特別稽古**」を行います。
- ・ 子供から高齢者まで、武道・スポーツをやっている人もそうでない人も誰もが楽しめる「**久しぶりの弓道体験**」や「**みんなでダンス教室**」などの多彩なプログラムを展開し、武道・スポーツに取り組む意欲を高め、**スポーツ実施率の向上に寄与**します。
- ・ **年齢、性別、障害の有無を問わず**、参加しやすい「**ポッチャ**」などのユニバーサルスポーツや「**ラダーゲッター**」などのニュースポーツを体験できるプログラムを実施します。
- ・ 未就学児から参加できる武道・スポーツに関連した「**ものづくりワークショップ**」を実施し、武道、スポーツへの興味・関心を促します。

3 グループの組織力を活かした基幹事業の展開

**「スポーツ気運継承事業」の基幹事業としてグループ4施設をつなぐ**

- ・ スポーツの日には、代表団体Aが管理運営に携わる4施設で開催する「スポーツの日記念イベント」において、著名人が各施設を移動して行うミニトークショーをYouTube等により双方向で放送を行うことで各施設をつなぎ、スポーツの日を盛り上げます。 **NEW**
- ・ また、都内スポーツ施設で開催されるスポーツイベント等の参加者に**デジタルポイントを付与**し、景品と交換できるスタンプラリーを実施します。年度末にポイントの獲得者に景品を贈呈するなど、4施設合同の「**スポーツ交流フェスタ(仮称)**」を開催することで、「**スポーツ気運継承事業**」の基幹事業としていきます。 **NEW**

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



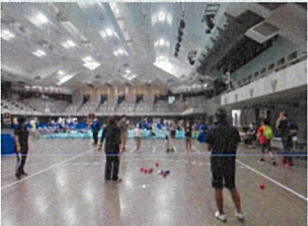


課題提案3-1(2)別表 スポーツの日記念事業の事業実施計画

別表

令和5年度の開催は、令和5年10月9日(月・祝)、参加予定人数5,000人で計画しています。  
実施内容については、令和4年度を参考に添付します。

(例)令和4年度実施内容

<p>「スペシャルトークショー」</p> <p>・著名アスリートなどの特別ゲストによるトークショー</p>	<p>「みんなでダンス教室」</p>  <p>・2012年から必修科目のダンスを、芸能人などの特別ゲストと一緒に踊る教室</p>
<p>「はじめての武道体験」</p> <p>・武道未経験者、初心者向けに剣道、柔道、弓道など数種目の武道を体験できるプログラム</p>	<p>「地域連携ブース」</p>  <p>などと連携して、玄関前広場でブースを展開 ・地元商店街などと連携して、来館者が各商店で割引を受けられるサービスを実施</p>
<p>「ユニバーサルスポーツ体験会」</p>  <p>・年齢、性別、障害の有無に関わらず楽しめる、ポッチャなどのユニバーサルスポーツ数種目を体験</p>	<p>「スタジオプログラム」</p> <p>・初心者から参加できる45分程度のスタジオプログラム(太極拳、ヨガ等)を数回実施</p>
<p>「武道特別稽古」</p> <p>・著名アスリートによる経験者向けの稽古を実施</p>	<p>「野外プログラム」</p>  <p>・初心者から参加できる45分程度のスタジオプログラムを玄関前広場等の野外で行う</p>
<p>「ワークショップ」</p>  <p>・未就学児でも楽しめるものづくりワークショップを実施</p>	<p>「無料開放」</p>  <p>・大武道場(卓球、バドミントン) ・トレーニングルーム</p>



(3) 自主事業

都民ニーズに対応した多様なプログラムで施設を有効活用します

- 伝統文化継承プログラムを実施するほか、茶室を利用した武道ツーリズムに取り組みます
- 都民がアスリートから直接学び、夢や希望を感じられる事業を開催します
- 構成団体Bの運営による多彩なフィットネスプログラムでスポーツ実施率の向上に寄与します

1 自主事業の基本的な方針

- ・東京都の各武道統括団体との連携に加え、**代表団体Aのネットワーク**を生かした専門性の高い各団体との連携やフィットネスプログラムのトレンドを理解している構成団体Bにより、**優れた指導者による高品質な事業**を展開し、都民に新しい価値を提供します。
- ・誰もが参加できる事業とするため、参加しやすい料金設定とします。参加希望が定員を超えた場合は、厳正な抽選を行い、公平性を確保します。

2 自主事業の実施体制

強みが発揮できる役割分担による効果的な体制を構築

- ・自主事業は、代表団体Aと構成団体Bが以下の役割分担のもと、それぞれの強みを発揮し、効果的に事業を展開します。(詳細は3-1-(3)別紙参照)

	担当業務	具体的な展開(例)	ねらい
代表団体A	<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設の有効活用</li> <li>●武道振興の促進</li> <li>●武道ツーリズムへの取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●頭脳スポーツ「囲碁」「将棋」大会等の開催</li> <li>●有名選手・指導者ふれあい事業の開催</li> <li>●茶室を活用した「武道&amp;茶道体験コース」の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●伝統文化の継承等</li> <li>●興味・関心の促進</li> <li>●インバウンド向けツーリズム</li> </ul>
構成団体B	<ul style="list-style-type: none"> <li>●フィットネスプログラムの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スタジオプログラムの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツ実施率の向上</li> </ul>

自主事業の役割分担と事業実施案

事業別に担当者を専任し、一元的なプログラム管理を実施

- ・事業ごとの担当者を明確にし、**担当者による一元的なプログラム管理**を行います。
- ・随時、利用者の声を収集し、事業の提供方法や指導方法等の見直しを行い、事業の質の向上を図ります。

安全管理の徹底

- ・事業を行うインストラクター及び講師は、本施設における安全管理体制及び緊急時対応などを熟知した上で、指導・運営に当たります。
- ・事業の内容・形態に応じて適正な人員配置し、参加者の安全確保、事故の未然防止に努めます。

3 当グループのノウハウを生かした自主事業の実施

伝統文化の継承

- ・日本の伝統文化を継承し、大人と子供の交流を目的に、「頭脳のスポーツ」といわれる囲碁の大会「**ジュニア囲碁パーク**」と、将棋の大会「**U-18 将棋スタジアム**」を

の協力のもとに実施します。

- ・「U-18 将棋スタジアム」を3期17年間連続開催してきたことに対し、令和4年度に代表団体Aが「日本将棋の普及や文化振興に長年にわたり多大な貢献をしてきた団体」として、  
 されました。今後とも文化継承事業を積極的に展開していきます。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



### 茶室等を活用した武道ツーリズムの取組

- ・茶室を活用して初心者や外国人等を対象とした、日本文化の紹介と武道のすそ野拡大を図る「**武道&茶道体験事業**」を実施します。**NEW**
- ・武道ツーリズムに取組むステークホルダーとして、地元自治体や観光産業関係者などへの働きかけを行い、将来的に地域振興を目的とする**インバウンド向けツーリズム**へつなげていきます。

### 有名選手・指導者とのふれあい

- ・青少年を対象とし、各武道・スポーツのトップ選手及び日本を代表する指導者と触れ合う「有名選手・指導者ふれあい事業」を行い、デモンストレーションや公開指導などを通じ、武道・スポーツへの関心を高めるとともに、**地域とトップスポーツとの交流を促進**します。
- ・**オリンピック、パラリンピアン等のトップアスリート**を積極的に起用することで、東京 2020 大会レガシーの継承とスポーツ気運の更なる醸成に寄与します。

### 構成団体Bによる民間ノウハウを取り入れたフィットネスプログラムの展開

#### ①参加促進の方策

- ・館外への横断幕の設置や近隣への折り込み込み広告、プログラムの無料体験会などを適宜行い、新規利用の促進を行います。また、ポイントカード(来場ごとに加算)の発行を行い、プログラムに付加価値を付けていきます。
- ・日本フィットネス産業協会などの感染予防ガイドラインに基づいた対策を徹底し実施します。



地域にアピールした屋外横断幕

#### ②具体的な事業展開

##### 【スタジオプログラムの継続】

- ・健康増進、ストレス発散、趣味への転用などのテーマを設け、初心者や年齢を問わず、利用者ごとのレベルに応じたヨガ、ズンバ、ジャズダンスなどのプログラムを週 40 本程度展開します。
- ・トレーニングルーム利用者を対象に実施しているポイントカードサービスをスタジオプログラム参加者にも拡大し、規定ポイント数を貯めると1レッスンが無料受講できる仕組みを整え、楽しみながら継続できるようにします。

##### 【対象別にプログラムを構築】

- ・これまでの参加者の傾向から、時間帯に応じた特徴が出ており、それぞれの時間帯に沿ったプログラム構成を行うことで、顧客満足度を高め、新規の参加者層の開拓を図ります。

区分	時間帯	主な対象	構成比 ※2022 年度 7 月
午前	9:00 - 13:00	高齢者・主婦	14 本 (35%)
午後	13:00 - 18:00	主婦(子育て世代)・子ども	17 本 (43%)
夜間	18:00 - 22:00	ビジネスパーソン	9 本 (22%)

プログラム実施時間帯

##### 【ユニークベニューに基づいた地域資源の活用】

- ・大研修室のみで行っていたヨガプログラムを和研修室等においても実施し、施設を有効的に活用します。**NEW**
- ・フラダンスプログラムを入口前広場や弓道場芝生など新たな場所で実施し周辺住民や施設利用者にアピールしていきます。**NEW**
- ・ウォーキング・ランニングマップを使用したウォーキングやランニングに関するイベント・セミナーを実施します。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

(令和5年度)

単位:千円

◆ 内容

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画									
			観客数	参加料/人 入場料	支出合計	委託費	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	施設利用料金	その他※
1	U-18将棋スタジアム 青少年を対象に、頭脳スポーツといわれる将棋に触れあい楽しむ機会を提供し、将棋大会、プロ棋士による指導対局及び入門教室等を通じて、同世代をはじめ多世代との交流を図り、青少年の健全育成に寄与する。	第3 四半期 1回 (1日)	700											
2	ジュニア囲碁パーク 青少年を対象に、頭脳スポーツといわれる囲碁に触れあい楽しむ機会を提供し、将棋大会、プロ棋士による指導対局及び入門教室等を通じて、同世代同士や異世代、大人との交流を図り、青少年の健全育成に寄与する。	第4 四半期 1回 (1日)	400											
3	武道ツアーリズム事業「武道&茶道体験事業」 初心者や外国人等を対象とした、武道・茶道体験教室を実施し、日本文化の紹介と武道のすそ野拡大を図り、武道ツアーリズムとしてインバウンド向けの事業に発展させることを目的とする。	第1~4 四半期 4回 (1日)	10											
4	有名選手・指導者ふれあい事業 青少年を対象に、トップレベルの選手や指導者と触れ合う機会を提供し、武道・スポーツへの意欲、関心を高めるとともに、生涯を通じて武道に取り組み人材の育成に寄与する。	第4 四半期 1回 (1日)	600											
5	【ヨガ75】 柔軟性とバランス感覚向上を 目的としたヨガクラス 月曜日 10:00~11:15	通年 29	25											
		実施回数	参加人数	繰入額①						収入総合計③				
		—	—							支出総合計②(①を含む。)				
										差引④(③-②)				

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。
- 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れられる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。

提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

(令和5年度)

◆ 内容

単位:千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画									
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	施設利用料金	その他※
6	【ハワイアンフラ (ゆっくりコース)】 初心者向けフラダンスクラス 月曜日 11:30~12:30	通年 29	25											
7	【ヨガ75】 柔軟性とバランス感覚向上を 目的としたヨガクラス 月曜日 13:30~14:45	通年 29	25											
8	【ZUMBA】 ラテン系の音楽にのせて楽しく踊る ダンスエクササイズ。 月曜日 19:00~19:45	通年 24	30											
9	【ZUMBA~Party Style~】 ラテン系の音楽にのせて楽しく踊る ダンスエクササイズ。 月曜日 20:15~21:00	通年 24	30											
10	【ヨガ60】 柔軟性とバランス感覚向上を 目的としたヨガクラス 火曜日 9:45~10:45	通年 36	30											
<b>総計</b>					繰入額①				収入総合計③					
					実施回数	参加人数	支出総合計②(①を含む。)		差引④(③-②)					

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。
- 繰入額①は、委託料算出の際に繰入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。



提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

(令和5年度)

単位:千円

◆ 内容

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画									
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	その他※	
11	【癒しのフラダンス】 初めて参加する方向けの入門編の フラダンスクラス 火曜日 11:00～12:00	通年 36	25											
12	【ピラティス】 インナーマッスルをトレーニングする、 ポテイメイク効果のあるクラス 火曜日 12:10～12:55	通年 36	25											
13	【元氣アップ体操<中級>】 高齢者のための 介護予防クラス(継続利用者用) 火曜日 13:15～14:15	通年 36	25											
14	【ヨガ60】 柔軟性とバランス感覚向上を 目的としたヨガクラス 火曜日 14:30～15:30	通年 36	25											
15	【ジャズダンス ビギナー】 ジャズダンスの簡単な動きに慣れるクラス 火曜日 15:45～16:15	通年 36	25											
<b>総計</b>			参加人数		繰入額①						収入総合計③			
			-		-						-			
					支出総合計②(①を含む。)						差引④(③-②)			

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。
- 繰入額①は、委託料算出の際に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。



提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

(令和5年度)

◆ 内容

単位:千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画									
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	施設利用料金	その他※
16	【ジャズダンス45(振り付けクラス)】 ジャズダンスの簡単な振り付けで楽しく踊るクラス 火曜日 16:25~17:10	通年 36	25											
17	【ボクシングサークル60(憲・健・拳)】 より本格的にボクシングの動きを 学びたい方へのプログラム 火曜日 18:30~19:30	通年 36	25											
18	【ヨガ&ストレッチ60】 リラクゼーション効果を最大限に引き出し、 一日の疲労回復を目指すプログラム 火曜日 19:45~20:45	通年 36	25											
19	【スキキリ!シェイプ45】 ボクシングの動きを使い、全身のシェイプアップを 目的としたクラス 水曜日 9:30~10:15	通年 39	25											
20	【ヨガ60】 柔軟性とバランス感覚向上を 目的としたヨガクラス 水曜日 10:30~11:30	通年 39	30											
		実施 回数	参加人数	繰入額①		収入総合計③								
		総合計				支出総合計②(①を含む。)						差引④(③-②)		

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。
- 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。

提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

(令和5年度)

単位:千円

◆ 内容

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画									
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	施設利用料金	その他※
21	【太極拳(入門)】 太極拳が初めての方が対象 緩やかな動きと呼吸で代謝向上や内臓機能向上を図るクラス 水曜日 11:45~12:15	通年 39	25											
22	【太極拳60】 太極拳の緩やかな動きと呼吸で代謝向上や 内臓機能向上を図るクラス 水曜日 12:25~13:25	通年 39	25											
23	【ヨガ75】 柔軟性とバランス感覚向上を 目的としたヨガクラス 水曜日 13:40~14:55	通年 39	25											
24	【気分は社交ダンス】 社交ダンスの動きをひとりで隔れるようにアレンジされた、 ラテン・タンゴなどのダンスを楽しめるクラス 水曜日 15:10~16:10	通年 39	25											
25	【ハワイアンフラのための基礎】 ハワイアンフラのための基礎づくり 水曜日 16:25~17:25	通年 39	25											
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。</li> <li>● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。</li> <li>● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。</li> <li>● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。</li> </ul>					繰入額①	収入総合計③								
					参加人数	実施回数	支出総合計②(①を含む。)	差引④(③-②)						
<b>総合計</b>														

提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

(令和5年度)

◆ 内容

単位:千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画									
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	施設利用料金	その他※
26	【ピラティス】 インナーマッスルをトレーニングする。 ボディメイク効果のあるクラス 水曜日 19:15~20:00	通年 39	25											
27	【ハワイアンフラ】 初心者向けフラダンスクラス 木曜日 10:00~11:00	通年 37	25											
28	【ヨガ60】 柔軟性とバランス感覚向上を 目的としたヨガクラス 木曜日 11:15~12:15	通年 37	30											
29	【かんたんステップ】 ステップ台を使ったシンプルな動きの有酸素運動 木曜日 13:15~13:45	通年 37	20											
30	【アロマリラックスヨガ60】 アロマの香りに癒されながら、ヨガのポーズを行い、 からだのめぐりを整えるクラス 木曜日 14:00~15:00	通年 37	25											
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。					繰入額①		収入総合計③							
					実施 回数	参加人数	支出総合計②(①を含む。)						差引④(③-②)	
<b>総合計</b>														



提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

(令和5年度)

単位:千円

◆ 内容

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画									
			観客数	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	施設利用料金	その他※
31	【ZUMBA】 ラテン系の音楽にのせて楽しく踊る ダンスエクササイズ。 木曜日 15:45～16:30	通年 37	30											
32	【スッキリ!シェイプ45】 ボクシングの動きで、運動不足解消、脂肪燃焼を 目的としたクラス 木曜日 16:45～17:30	通年 37	25											
33	【ゆったり肩腰メンテナンス】 骨盤調整に定評のあるフレックスクッションを 使用した姿勢改善、柔軟性向上を目的としたクラス 木曜日 17:45～18:30	通年 37	25											
34	【MOVE BODY～FIGHT～】 格闘技のダイナミックな動きで 運動不足解消、脂肪燃焼を目的としたクラス 木曜日 19:30～20:15	通年 37	25											
35	【ボクシングサークル60 (憲・健・拳)】 より本格的にボクシングの動きを 学びたい方へのプログラム 木曜日 20:30～21:30	通年 37	25											
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 (参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の 収支」の5年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れられる額を記載 し、「6 収支計画(2)その他(3)」と金額が一致すること。					繰入額①		収入総合計③							
					参加人数	支出総合計②(①を含む。)						差引④(③-②)		
<b>総合計</b>														

提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

(令和5年度)

◆ 内容

単位:千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画								
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	施設利用料金
36	【おはよう空手エクササイズ】 空手の動きを用いて、軽い運動、 シェイプアップ・体力向上を目指すクラス 金曜日 9:30~10:00	通年 28	20			参加料	入場料					その他※	
37	【アロマリラクゼーションヨガ75】 アロマの香りに癒されながら、ヨガのポーズを行い、 からだのめぐりを整えるクラス 金曜日 10:15~11:30	通年 28	25			講師費用	材料費	施設利用料金				その他※	
38	【太極拳24式】 太極拳の緩やかな動きと呼吸で代謝向上や 内臓機能向上を図るクラス 金曜日 11:45~13:00	通年 28	25			講師費用	材料費	施設利用料金				その他※	
39	【元氣アップ体操（初級）】 高齢者のための 介護予防クラス（初めて～初心者） 金曜日 13:15~14:15	通年 28	25			講師費用	材料費	施設利用料金				その他※	
40	【シンプルエアロ】 シンプルな動きで有酸素運動を行い、 シェイプアップを目指すクラス 金曜日 14:30~15:00	通年 28	25			講師費用	材料費	施設利用料金				その他※	
			参加人数		繰入額①						収入総合計③		
総合計			-		支出総合計②(①を含む。)						差引④(③-②)		

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。
- 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。

提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

(令和5年度)

◆ 内容

単位:千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画									
			観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	施設利用料金	その他※
41	【ピラティス&ストレッチ】 インナーマッスルをトレーニングし、全身のストレッチも おこなう、ボディメイク効果のあるクラス 金曜日 15:10~15:55	通年 28	25											
42	【ZUMBA】 ラテン系の音楽にのせて楽しく踊る ダンスエクササイズ。 金曜日 16:15~17:00	通年 28	30											
43	【ボクシングサークル60(憲・健・拳)】 より本格的にボクシングの動きを 学びたい方へのプログラム 金曜日 19:00~20:00	通年 25	25											
44	【空手クラブ】 空手の基本をじっくり丁寧に シェイプアップ効果も狙えるクラス 金曜日 20:45~21:30	通年 25	20											
45	【1レッスン都度体験】 スクールでの参加が可能な利用者の ためのスタジオレッスン都度販売方式	通年 96	-											
総合計			参加人数		繰入額①						収入総合計③			
			-								支出総合計②(①を含む。)		差引④(③-②)	

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。
- 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。





(4) 周辺連携事業

**地域に親しまれる拠点施設として、綾瀬地区をはじめとする多様な施設や組織と連携し、スポーツ振興のみならず、魅力向上や活性化を図ります**

- や地元学校などと相互利用の促進を図り、地域のにぎわいを創出します
- 地元自治体や警察・消防と連携した地域防犯への協力などを積極的に取り組みます



1 周辺連携事業の基本方針

**東京都の施策を踏まえ、周辺施設との連携を図る取組の展開**

- ・ と一体化した取組を積極的に進め、綾瀬地区地域交流の拠点と賑わいを創出するとともに、 など、面的な広がり視野に連携を図る取り組みを進めます。
- ・ 近隣住民からの要望にも丁寧に対応するなど、3期17年にわたり地元との調和を図る観点で運営を行い信頼された地元関係を構築しており、今後とも継続していきます。
- ・ 地元の「綾瀬住区センター祭り」に館長が参加するとともに、この良好な地元関係を継続していきます。
- ・ 今後も、より地元住民に愛される施設となるよう、地元商店街・教育機関・地元自治会・地元官公庁等への協力を行い、地域社会への貢献にも積極的に取り組んでいきます。

2. 東京都の施策に合致した多彩な事業を展開

**地域住民に親しまれる事業の提供**

① と連携したイベントの実施

- ・ との連携を一層深め、本施設を含めた東綾瀬公園の一体化した広報展開を図るとともに、施設内で行っているヨガやズンバなどのプログラムを で実施します。
- ・ 公園利用者や地域住民などに気軽に着替えやシャワーなどのできる場所を提供します。

② 商店街、周辺学校と連携した賑わいの場の提供

- ・ 本施設で開催するイベント時には、 綾瀬地区4か所の商店街等に、出店の声かけを行い、東京武道館マルシェとして展開するなど、地域の賑わいの向上を図ります。
- ・ 商店街マップを本施設のデジタルサイネージに掲出すると共に、商店と本施設の広報掲出など相互に交流を図り、来館された方が近隣店舗を巡るきっかけづくりを行い、地域交流の場としてのプラスアルファの価値を創出します。
- ・ をはじめとする地域の学校で開催している部活動や地域のサークル活動の発表の場を提供します。また、現在改築工事中でグラウンド等が使用できない には、本施設を体育祭や部活動の場として提供しており、同様なケースにも引き続き対応して連携を図ります。



地域サークルの活動の場の提供

- ・ と協同し、地元小中学生を対象としたスポーツ教室や、武道師範による体験会を実施します。

③ 地元自治体や警察などと連携した地域の安全向上への取組

- ・ によるテロ対策訓練や足立区総合防災訓練や綾瀬地区防犯・美化キャンペーンに積極的に参加するとともに、地域住民を対象とした防犯訓練・交通安全講習会等に会場を提供し、地域の安全の向上に寄与していきます。

④ 施設開放による賑わいの向上

- ・ 本施設で行われる大会風景や施設の外観・内観を対象とした「写真コンテスト」を開催し、施設やスポーツに興味を持ってもらうきっかけづくりとします。
- ・ 綾瀬住区センターサークルの書道や絵画の展示・発表の場として中央ホールの提供を継続します。
- ・ 和研修室でのヨガ使用やロケ撮影など、空き施設の有効活用を図ります。

テロ対策訓練

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

提案課題3-1(4)別表 周辺連携事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

単位：千円

◆ 内容

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画									
			定員観客数	参加料/入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	施設利用料金	その他※
1	【との広報連携】 と一体化したイベント情報などの発信	通年	—	—										
2	【とのフィットネスプログラム連携事業】 において当館実施のヨガ、ズンバなどのフィットネスプログラムの実施	年1回	60	—										
3	【綾瀬地区ランニングステーション活用】 ランナー向けのランニングステーションとして、個人使用施設の更衣室提供(施設提供再掲)	通年	180	—										
4	【ほかとの広報協力】 イベントマップやHPなどのQRコード設置。また、当施設においての施設情報をデジタルサイネージにて掲出 に当施設の	通年	—	—										
5	【スポーツの日における近隣地区との連携】 による中央ホール、P・Q地区への出店(スポーツの日再掲)	年1回	スポーツの日に掲載											
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総計②、収入総計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。					繰入額①		収入総計③							
					参加人数		支出総計②(①を含む。)						差引④(③-②)	
総合計					繰入額①		収入総計③							
実施回数					参加人数		支出総計②(①を含む。)						差引④(③-②)	



提案課題3-1(4)別表 周辺連携事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画								
			観客数	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	施設利用料金
6	【による講習会への協力】 によるテロ対策訓練のほか、地域住民を対象とした 防犯講習会や安全講習会や場所の提供。	適宜	—	—									
7	【足立区との防災・環境に対する連携】 足立区総合防災訓練や綾瀬地区防犯・美化キャンペーンへの 参加	適宜	—	—									
8	【近隣学校への施設提供】 などに対して部活動として各室場の 貸出(施設提供の再掲)	適宜	—	—									
9	【地域サークルとの協力】 地域サークルにおいて絵画や書道などの作品を中央ホールへ 展示、また、東京武道館杯などの当館主催のイベントにおいて 発表の場の提供	適宜	—	—									
10	【足立区スポーツ推進委員との共同事業】 足立区スポーツ推進委員と連携し、地元小中学生を対象とした ニュースポーツの体験教室の開催	年1回	20	—									
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※ (参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収 支」の5年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、 「6 収支計画(2)その他(②)」と金額が一致すること。					繰入額①			収入総合計③					
					参加人数			支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)		
<b>総合計</b>													





(5) 利用者に対するサービス提供事業

**利用者のニーズに即した付加価値のある様々なサービスを提供し、快適なスポーツライフに向けた取り組みを行います。**

- 蓄積された利用者ニーズに応え、多様化する利用にも対応するサービスを提供します
- 施設内のサービスを充実させ、カスタマーエクスペリエンスの向上を図ります
- 利用者の目的に応じた情報提供をするとともに、武道等の情報を発信していきます



1 多様化する利用者ニーズに対応

**利用者をサポートするサービス展開と情報提供**

・3期17年の指定管理の実績において蓄積された経験とノウハウに基づき、多様化する利用者ニーズに対応できるよう「身近で気軽にできる運動実践の場」を提供するため、以下のサービスを提供します。

① 更なる施設利用を促進するための駐車場経営

- ・駐車場において、本施設利用者の割引サービスやキャッシュレス化を実施し、大会関係者、個人利用者の利便性の向上及び施設利用促進を図ってまいります。
- ・急速充電設備1基、普通充電設備3基を設置し、電気自動車利用者の利便に供します。**(充電料無料)**
- ・本施設で行われる大規模大会等に対しては、開場時間に合わせた開放時間の延長や貸し切り提供を行い、円滑な大会運営をサポートします。



ユニバーサルデザインの自動販売機

② 自動販売機の設置

- ・自動販売機においては、利用者・観客など施設利用者の目的に沿った品目を利用者動線に合わせた配置やユニバーサルデザインを用いた機器の設置、キャッシュレス化への対応など、利用者の多様性に対応いたします。



トレーニング用レンタル用品

商品名	料金
バスタオル	円
フェイスタオル	円
シューズ	円
Tシャツ	円
短パン	円

レンタル用品料金

③ トレーニング用品レンタル

- ・トレーニングウェア、シューズ、タオルなど、トレーニング用品の貸出しを行うことで、仕事帰りなどに手ぶらで気軽に利用することを可能にしています。利用時にウェア、シューズなどを忘れてしまった際にもご利用いただくなど好評であり、継続して実施していきます。

④ シューズロッカーの設置

- ・トレーニング用品の中でかさばってしまうシューズを置いて帰れる、個人専用のシューズロッカーの設置も継続します。シューズ以外にもトレーニング用の道具が保管できるサイズとしています。



シューズロッカー

商品名	料金
3か月契約	円
6か月契約	円

契約シューズロッカー料金

⑤ 機能性ドリンク類の販売

- ・トレーニングルーム利用者を対象に、運動前に飲むことで脂肪燃焼効果を促進させる機能性ドリンクや、運動後のエネルギー補給としてハードにトレーニングされる方に好評なプロテインドリンクの販売を継続します。

⑥ 団体用ロッカーの貸出し

- ・利用希望のある競技団体に対し、武具等を保管することのできるロッカーの貸出しサービス(有料)を行っており、非常に人気が高く100%の稼働率を誇っています。引き続き継続し定期利用の促進を図ります。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



⑦売店の運営

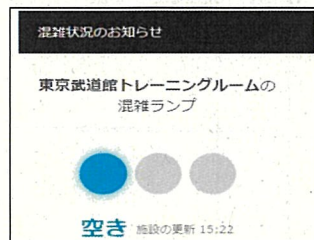
- ・大武道場の大会観戦者向けに、軽食の販売や弁当の注文販売などを行います。また、支払方法については現金のほかキャッシュレスにも対応し、利用者の利便性向上を図ります。
- ・全国から集まる武道愛好者や子供たちの来館記念となるよう東京武道館グッズの品ぞろえの充実を図っていきます。



売店の様子

⑧Twitter などによるトレーニングルーム情報の発信

- ・トレーニングルーム専用 Twitter で時間ごとの利用者数の発信を継続します。また専用のホームページにおいてもリアルタイムで利用状況を知らせる混雑ランプを掲載することで、様々な形において個人利用者が混雑を避け、来館できるようにします。
- ・各種イベントやスタジオプログラム案内などの情報を随時提供し、施設を楽しくより快適にご利用いただけるようにします。



混雑ランプ

2 カスタマーエクスペリエンスの向上につながるサービスの提供

利用者にとって付加価値のあるサービスの提供

①配信用の高速通信規格 Wi-Fi の設置

- ・大武道場には大会配信用の光回線端子が整備され、ご利用の都度、ご利用団体が配線の設置・撤去を行いましたが、「新しい日常」の中でより簡便な利用の要望を受け、常設の配信用の高速通信規格 Wi-Fi を設置します(有料)。これにより、従来、利用団体が行ってきた設置・撤去の費用や設営時間が削減されるなど利用者サービスの向上を図ります。 **NEW**
- ・Wi-Fi 環境を充実させることで、これまでに利用実績のない格闘技系の e スポーツのイベント会場としての利用も可能となるだけでなく、本施設主催の様々な事業の映像配信が可能となり施設の PR や事業参加者の勧誘、新規利用団体の獲得など様々な面で活用を図っていきます。
- ・大研修室等においても配信用の Wi-Fi を設置し、会議やスポーツイベント等にご利用いただけるようにいたします。

②授乳室やサニタリーボックスの新規設置 **NEW**

- ・本施設には授乳室がないため、1階女子更衣室横にある、指導員更衣室を授乳室として併用活用します。多目的トイレに近い位置にあり、シャワー機能の付いた部屋を授乳室として活用することで乳幼児連れの利用者に安心感をもたらします。
- ・女性トイレにはすでにサニタリーボックスが設置されていますが、男性トイレにも同様に設置し、共生社会の実現を目指していきます。

③情報コーナーの充実

- ・本施設の正面玄関に設置している情報コーナーでは、武道、スポーツやオリンピック・パラリンピックに関する資料の提供を行っています。さらに**武道未経験者向けの情報配信(A)**と**施設利用者向けの情報コーナー(B)**に分けることで利用者のニーズに寄り添った情報提供を行います。

【 武道をこれから始める人を対象とした情報の提供方法 】 **NEW**

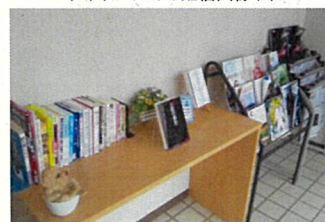
- ・正面玄関・中央ホールには、武道未経験者が武道をはじめのきっかけづくりとなるようデジタルサイネージを活用し、各武道や事業紹介の映像を配信します。また、武道ツーリズムの効果を高めるために、日本文化における茶道、書道などの作法の映像配信を行います。



サイネージでの配信画像(A)

【 武道の知識をもち、さらなるレベルアップを図る人を対象とした情報提供方法 】

- ・各道場の中に武道の関連書籍を用意し、利用者がその場で確認・実践できる仕組みを作ります。定期購読している武道専門誌も配置し、利用者が常に最新情報を取得できるようにします。
- ・大武道場北側にも様々な書籍を配置することで利用者がじっくりと学習できる場所を提供します。
- ・書籍のレンタルを行い、利用者の武道修練の機会拡大を図ります。
- ・武道相談において相談頻度の高い内容を整理したものを掲出し、さらなる技術向上ができるようにします。



様々な書籍を配置(B)

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



提案課題3-1(5)別表 利用者に対するサービス提供事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容		単位：千円	
NO	事業名及び内容 (目的、料金、提供方法、営業時間、運営体制等)	収支の概要増減 (支出には、人件費及び消費税を含む。)	
		指定管理者の収支計画 支出	収入
1	<p><b>駐車場の運営</b></p> <p>利用者の利便性向上のため、駐車場の運営を行います。            台数：70台(障害者用2台含む)            時間：8:30～22:30            料金：円            *            急速充電器1基、普通充電器3基(充電料無料)</p>		
2	<p><b>売店の運営</b></p> <p>施設利用者の便宜を図るため、弁当、スナック等軽飲食類、スポーツグッズ等の販売を行う売店を業務委託により運営し管理手数料を徴収します。            場所：中央ホール 時間：施設営業時間内            料金：</p>		
3	<p><b>自動販売機の設置</b></p> <p>施設利用者の便宜を図るため、館内に清涼飲料水等を販売する自動販売機を設置し、売上額の一定割合を管理手数料として徴収します(障害者団体は除)。            設置場所：館内各所            台数：18台(障害者団体3台を含む)            料金：</p>		
4	<p><b>団体ロッカーの設置</b></p> <p>武道場利用団体の利便性向上のため武器等の保管場所を提供します。            料金：</p>		
5	<p><b>撮影の協力</b></p> <p>東京武道館の施設内及び屋外敷地において映画や写真等の撮影を希望する団体等に撮影協力をを行います。            料金：</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用者サービス事業の具体的な提案を記述すること。</li> <li>● 「収支計画」は、指定管理者の年間収支を記述すること。</li> <li>● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。</li> <li>● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2) その他(G)」と金額が一致すること。</li> </ul>		繰入額①	収入合計③
		支出合計② (①を含む。)	差引④ (③-②)





(1) 広報

**複合的かつ戦略的な広報により効果的な情報提供を実施します**

- WEB アクセシビリティの向上を図り、あらゆる人々に施設の魅力を積極的に発信します
- 若年層や働き盛り世代への情報発信を強化するため、SNS やデジタル媒体を積極的に利用します
- 複合的かつ戦略的な広報を実現し、都民がスポーツに触れる機会を拡充します

1 グループの発信力を高めるための広報活動

**専用ホームページ等のアクセシビリティ向上**

- ・本施設のホームページでは、トップページ上部にバリアフリー情報及び視覚サポート機能を集約し、WEB アクセシビリティの向上を図ります。
- ・また、英語の**自動翻訳システムの導入**により、新たな投稿が即時に翻訳されるため、外国人の方々に向けてリアルタイムな発信が可能です。
- ・専用のホームページをもつトレーニングルームでは、混雑状況のお知らせや設置機器及び各マシン・設備の使い方など、利用者が必要とする**情報発信を継続**します。



改修後ホームページ

**SNS の効果的な活用**

- ・Instagram, Twitter といった SNS では、本施設のイベント情報や事業情報の**配信回数を大幅に増やし、若年層や働き盛り世代への情報発信の強化**を図ります。
- ・スポーツ振興事業の事業風景やトレーニングのワンポイントアドバイスなどを発信し、**武道・スポーツのきっかけづくり**を行います。
- ・閲覧数や年代別の波及効果等について、情報の収集・分析を行い、投稿内容等の画一化・マンネリ化の解消やターゲット層に応じた訴求力を高め、**効果的な事業戦略**を展開します。



ツイッター画面

**従来広報の強化**

- ・本施設の概要や利用状況をまとめた「**要覧**」、代表団体Aが管理する都立スポーツ施設の利用方法をまとめた「**施設利用ガイド**」を**毎年度発行**し、各関係行政機関や利用者 に配布を行います。また、**英語版パンフレット**等を作成し、インバウンドに対応します。
- ・これまで紙媒体だけであった「要覧」「施設利用ガイド」等についても**デジタル版を作成**し、ホームページや SNS 等で発信します。
- ・東京都の求めに応じて、「**広報東京都**」など広報原稿の掲出や報道発表資料の作成に引き続き積極的に協力します。
- ・**テレビ、新聞、雑誌などのマスメディア**に対し、積極的にイベント情報を提供します。
- ・館内各所に設置された**デジタルサイネージ**では、**大会の情報や施設の利用案内、近隣商店街マップ**等を掲示し、施設の利用促進や周辺連携を図ります。



発行している英語版パンフレット等

**スポーツ案内ポータルサイトとの連携**

- ・現在、ホームページでは、スポーツ案内ポータルサイト「**SPOPITA**」と**連携**し、本施設を 360 度画像で紹介しています。要覧のデジタル版と併せ、新しい日常に対応した WEB 視察に向けた検討を進め、施設活用の効率化を図ります。
- ・代表団体Aの事業・イベント予約サイト「**スマイルスポーツ**」ホームページにおいて、本施設の事業をはじめ、様々な武道の情報を発信します。



SPOPITA

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



(2) 業務の品質管理

利用者ニーズを的確に捉え、効果的な業務改善、ルール改正を継続的に  
行うことで、サービス品質の向上につなげます

- 関係団体の協力を得て、利用者だけでなく潜在的な利用者からの声も収集します
- OODA ループ、PDCA サイクルに基づき計画的かつ継続的な業務改善を行います
- コンソーシアム各社と密に情報共有を行い、当グループ全体でサービスレベルを向上します



1 利用者ニーズや要望の把握

利用者ニーズの把握

- ・ 館内利用団体との利用者懇談会を年1回行い、直接意見を伺う場を通じ、利用者・都民の声を敏感にキャッチしていきます。
- ・ ホームページや館内の各所にご意見箱を設置し、広く利用者からのニーズを把握し、業務改善に役立てます。
- ・ 代表団体Aが、先述の「SPOPITA」を開発する際に（一社）東京都レクリエーション協会など関係団体の協力を得て、大規模なアンケートを実施し、4千名以上の方からのご回答いただきました。今後も様々な場面でデジタル媒体を活用し、潜在的な利用者ニーズの把握に努めます。

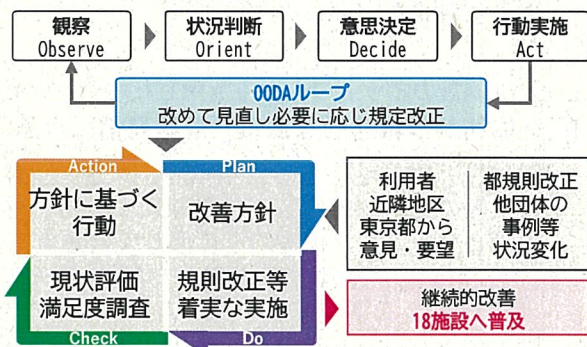
利用者の声	改善策
弓道場巻き藁室に向かう廊下の木の腐食がひどい	東京都に即座に伝達し、新規の廊下を設置
中央ホールの電気が夜暗く危険	指定管理者経費で蛍光灯からLEDに変更
バイクと自転車が同じ駐車場で混雑かつ危険	運用見直しにより、バイク専用駐車場を設置

これまでの改善事例（一例）

2 業務改善や情報共有の仕組み

業務改善の考え方

- ・ 現場は刻々と状況が変化することから、迅速な対応が求められることがあります。軽微な業務改善については、指示を待つことなく自らの経験と判断に基づき対応する「OODA ループ」の思考法により、経験豊富な当グループの現場職員が、迅速かつ臨機応変に対応します。
- ・ 一方、利用時間延長など、抜本的な業務改善については、利用者や東京都からの要望等も踏まえ、「PDCA サイクル」の思考法により、組織として問題解決にあたります。
- ・ OODA ループと PDCA サイクルによる相乗効果を高めるためマニュアルの改訂を図るなど、全スタッフで情報共有し、改善を継続します。



OODA ループと PDCA サイクルによる相乗効果

情報共有によるサービスレベルの向上

- ・ 当グループは、各業務担当責任者が参加する館内連絡会議、構成団体の責任者から成るコンソーシアム会議、代表団体Aが管理している都立スポーツ施設の代表が集まる経営会議など、様々な情報共有の場があります。各情報共有の場を最大限活用し、課題を定性、定量的に分析し、統一的な目的を持って改善するとともに、成功事例についても共有するなど、当グループ全体でのサービスレベルを常に向上させます。
- ・ また、当グループで得られた知見等については、東京都の実施するパートナーシップ会議のほか、予約システムの維持管理業務など代表団体Aが実施する他施設への調整業務を通じ、本施設以外の都立スポーツ施設と積極的な情報交換を行います。スポーツ施設共通の課題と対応策を見出し、共有することで18施設全体の水準を向上させます。

外部資金導入等による事業の拡充

- ・ や、活用するなど、外部資金導入等により、財源の確保に努めます。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



## 都立スポーツ施設のネットワークへ積極的に参画し、総合スポーツ施設のポテンシャルを最大限発揮します

- 東京都のスポーツ振興施策に精通し、管理運営のノウハウを有する代表団体Aが、18施設全体の連携を先導する機能を発揮します
- 競技団体や利用者へ 窓口をワンストップ化し、予約や施設利用に関する問合せ等に対応します
- 総合スポーツ施設としての特性を踏まえ、多様な活用によりスポーツ振興に貢献します



### 基本的な考え方

- ・ 代表団体Aは、これまででもホームページ、SNS等の活用により施設情報の提供について、積極的な情報発信を行っています。
- ・ 今後も、武道施設のフラッグシップとして培ったノウハウや関係団体とのつながりを活用し、18施設ネットワークをさらに強化するため、東京都スポーツ振興審議会で示された「発信力の強化」「ニーズ対応力の強化」「一体的取組によるスポーツ振興」の3つの視点を軸に下記のような取組を実施します。



### 1 全18施設のネットワークを活用したポテンシャルの発揮

#### 一体的かつ戦略的な広報・情報発信による「発信力の強化」

- ・ 18施設のプロモーションや幅広いスポーツ体験機会の提供等のために行う以下の取組について、他の施設の模範となるよう、積極的に推進していきます。
- ・ 代表団体Aが運営するスポーツ案内ポータルサイト「SPOPITA」を活用することにより、例えば弓道の部活動で利用したいという要望に応じて、本施設だけでなく、他の都立施設や民間のスポーツ施設を含めた都内スポーツ施設の情報が検索できます。
- ・ 個人ではヨガ教室などのプログラムや、各種イベント情報が検索できるほか、都立施設に関しては3Dビューでトレーニングエリアなども閲覧でき、実際に利用を検討している方などに対し、気軽に来館していただけるよう工夫していきます。
- ・ スポーツ動画の配信、栄養バランスに考慮した料理紹介等、スポーツ好きはもちろん、スポーツに関心がない方、時間がとれない方でも楽しめる魅力的なコンテンツを発信しています。



スポーツ案内ポータルサイト「SPOPITA」の概要

- ・ 都民や利用団体等の多様なニーズに応えるための以下の取組について、他施設にも積極的に働きかけるなど、率先して進めていきます。

#### ①施設間のコミュニケーションの円滑化

- ・ 18施設全体の生産性を向上させるため、都立スポーツ施設が一同に集まる「パートナーシップ会議」において、率先して各施設共通の懸案事項や利用者の声等の情報共有を働きかけるなど、施設間でのコミュニケーションの円滑化を図り、18施設全体のニーズ対応力の強化に寄与します。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



## ②施設利用調整

- ・全国大会など、日程や規模の関係から他施設を併用する必要がある場合は、18施設のネットワークを活かし、複数施設開催の調整をしていきます。
- ・本施設は、利用のしやすさから優先予約の申込みが重複するケースが数多く生じます。他の都立施設への同時申込み状況等を勘案し、調整することで、都立スポーツ施設としてより多くの大会等の需要にこたえられるようにします。

## ③

## ④

- ・施設だけでなく、  
競技備品・用具の貸出しのバリエーションの強化を図ります。  
の団体と協力し、

## 18 施設共通コンセプトの「一体的取組によるスポーツ振興」

- ・代表団体Aが実施する各施設におけるスポーツ振興事業等の参加者にポイントを付与する仕組みを利用し、スポーツ参画への動機付けを行います。
- ・令和4年度末には、代表団体Aが現在運営している4施設合同で「スポーツ交流フェスタ（仮称）」を実施します。本イベントでは、ポイント獲得者に景品を贈呈する企画を実施し、年間にわたりスポーツ参画へのモチベーションを保てる仕組みとします。
- ・本イベントは、複数の都立スポーツ施設で毎年会場を変更して実施することで、施設横断的な利用を促進することができます。
- ・その他にも「スポーツの日記念事業」では、代表団体Aが管理する施設を中心に、複数の会場をYouTubeなど双方向放映により連動させ、スポーツの日を都立スポーツ施設から盛り上げます。

## 2 施設の特徴を活かした多様な活用

### スポーツでの更なる活用

- ・武道師範による武道相談業務は、相談時間帯を夜間等にまで拡大することで働き盛り世代が参加しやすい環境を提供し、武道のすそ野を広げます。
- ・スポーツチャンバラなど障害の有無に関わらず誰もが武道に興味を持ち、楽しめるきっかけづくりとなる「武道館でBUDO（仮称）」事業を実施し、更なるスポーツ振興に寄与します。

### スポーツに限らない多様な活用を通じた新たな体験の提供

- ・日本文化や観光等の連携を行うために、本施設の茶室を有効活用し、柔道、剣道、弓道の各武道を組み合わせ、将来的にインバウンドを対象とした武道ツーリズムにつながる事業を展開します。
- ・配信用の高速通信規格Wi-Fiを設置し、格闘技系のeスポーツ大会誘致なども行い、スポーツ以外の活用を促進するとともに、映像配信による新たなスポーツ観戦の方法を創出していきます。

### 公園や地域との連携による綾瀬地域の活性化

- ・公園ランナーへ本施設をランニングステーションとして提供することや、本施設で実施しているスタジオプログラムを公園で実施するなど、と連携を図ることで、公園と本施設が一体となりスポーツに取り組める場所を提供します。
- ・学校部活動の地域移行が今後本格化することを見据え、地域におけるスポーツ機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実を図るため、武道場等の時間単位の利用を検討します。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



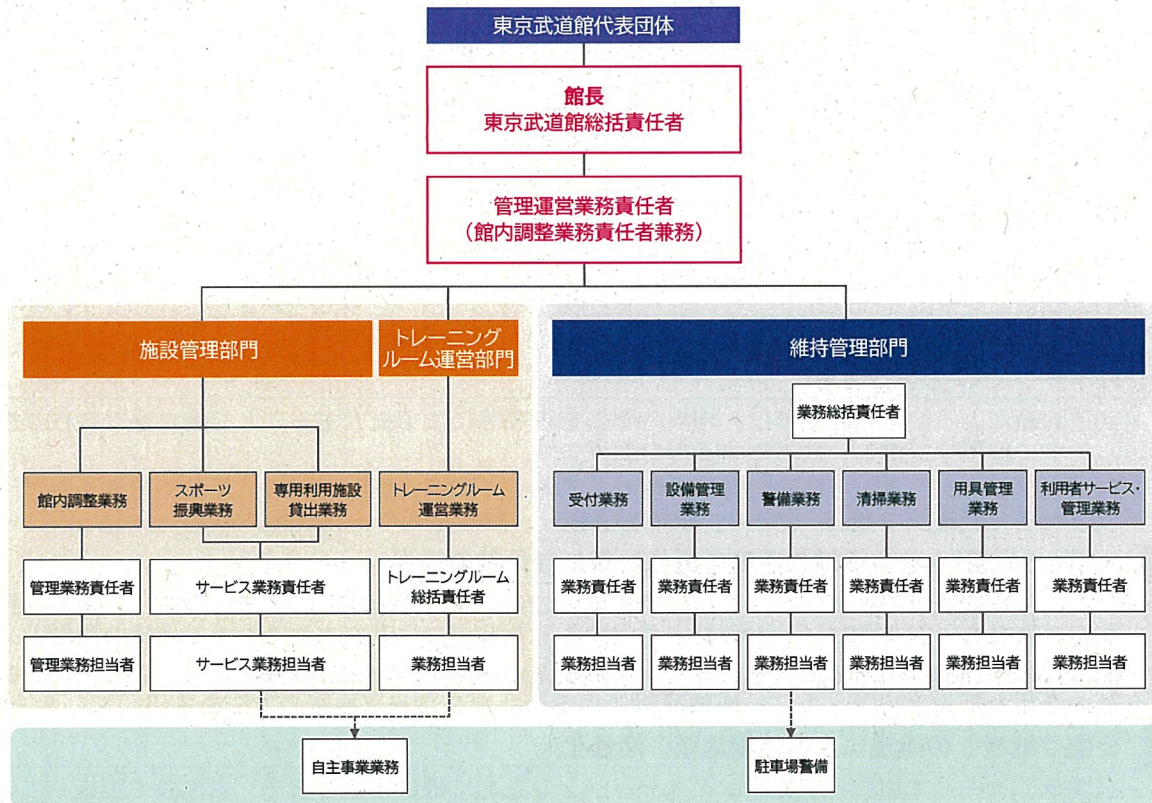
## 業務ごとに専門家を配置した組織体制による効果的・効率的な施設運営を行います

- 総括責任者である館長をトップに、多様化するニーズに対応できる強固な組織体制を整備します
- グループ各団体の長（メリット）を生かし、経験と専門性を備えた人員を配置します
- 過去3期 17年の指定管理者としての管理で培ったノウハウやネットワークに加え、明確な役割分担と強固な連携により、効果的な運営を実施します

### 1 組織運営体制の基本的な考え方

#### 多様化するニーズに対応できる強固な組織体制

- ・施設の総括責任者である館長をトップに、業務内容に応じて必要な経験・知識・技能を有する職員・スタッフを配置することで、多様化するニーズに対応できる強固な組織体制を整備します。
- ・業務ごとに責任者を配置し、グループ内の連絡体制の統率を行うことで、グループ内での役割分担を明確化し、確実かつ効率的に業務を遂行します。
- ・大規模大会開催時や緊急・災害時には、代表団体Aが管理する複数の都立スポーツ施設やグループの各構成団体からのバックアップ体制を構築し、柔軟に人員体制を整え、大会運営のサポートやサービス提供の継続に努めます。
- ・大規模スポーツ大会の運営経験やこれまで構築した各スポーツ関連団体との信頼関係を生かして、大規模大会の誘致や大会時の広報協力等、より効率的な運営を実施していきます。
- ・3期 17年の管理運営で培った地域とのネットワークを生かして、大規模大会時における近隣の交通整理等、万全な体制を構築します。



管理・運営・維持管理業務実施組織図

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



## 2 各部門の人員配置

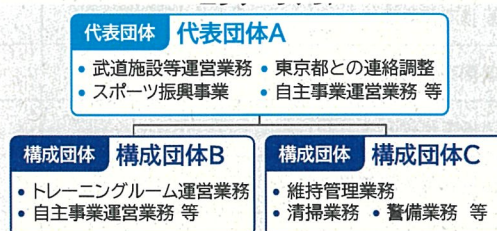
### 経験豊富な専門人材の配置による運営品質の向上

- 代表団体Aの職員は、複数の都立スポーツ施設の管理部門とサービス部門をジョブローテーションすることで、多くの団体と関わる機会を創出し、利用の調整や事業の実施を通して**利用団体・関係団体との高い信頼関係を構築**します。
- 豊富な接遇経験により培った高いコミュニケーション力と公平・公正な施設運営により、都立スポーツ施設の指定管理者として満足度の高い施設運営を行います。
- スポーツ施設の管理運営実績を生かし、ノウハウに基づく利用者数予測を踏まえた、管理運営・安全確保に**必要な人数を配置**します。
- 本施設の「業務内容及び管理運営の基準」に基づき、**資格要件を満たしたスタッフを適切に配置**するとともに、資格試験受講料の補助等による上位資格の取得支援を行い、運営の品質を継続的に高めます。
- 事業や施設の情報をより分かりやすく利用者に発信できるよう、代表団体Aの全職員にデジタルメディアの活用についての広報研修を実施します。
- 代表団体AではDX担当職員を配置し、リモートワークの環境整備や諸手続のデジタル化を行ってきました。今後も組織的にデジタル技術の活用を推進していくことで、業務の効率化や利用者の利便性向上を図ります。

## 3 グループ内の責任分担と連携体制の確保

### グループ内の明確な役割分担

- 当グループは、右図に示す各々の担当業務について全面的に責任を持ちます。
- 代表団体Aは、東京都との連絡調整及び構成団体内の連絡調整を行うとともに、施設運営全般を総括し、本施設の運営を通して、都民のスポーツ振興に寄与します。
- 構成団体Bはトレーニングルームの運営業務やフィットネスプログラムを実施し、体を動かすことの楽しさを都民に伝えていきます。
- 構成団体Cは施設の維持管理・清掃・警備業務を行い、利用者が安心・安全に使用できる施設づくりを行います。



グループ内の役割分担

### 職員・スタッフ間の円滑なコミュニケーションを促進する組織体制を確立

- 構成団体間で定期的に「**館内連絡会議**」や**コンソーシアム会議**を行い、職員・スタッフ間のコミュニケーションを促進します。
- 利用者や都民の多様化するニーズへの対応について、業務責任者主導のもと、職員・スタッフ間で検討を行い、管理運営状況についての共通認識を図ります。
- 情報交換をスムーズに行い、あらゆる状況に迅速に対応できる職場とするため、右図の6つの視点から、報告・連絡・相談を行うよう職員・スタッフへの教育を行います。

#### 報告・連絡・相談の6つの視点

- ① 問題点を明確にする
- ② 緊急性を判断する
- ③ 直接「報告・連絡・相談」する
- ④ 要点を簡潔にまとめる
- ⑤ 相手の立場を尊重する
- ⑥ 問題や相談者をフォローする

情報交換をスムーズに行うための6つの視点

## 4 東京都への連絡・調整・報告体制の確立

### 東京都への連絡・調整・報告体制の確立

- 管理業務責任者が東京都への連絡窓口業務を担当するほか、緊急時は、館長から**迅速に東京都へ報告**する体制とします。
- 大規模大会の開催等に当たっては、東京都と綿密に情報交換、意思疎通を図るとともに、関係団体等との連絡調整を行うことで、緊急事態にも対応可能な体制を整えます。



提案課題4-1 別表 各部門の所要人員

	役職	担当業務内容 (具体的に記入してください)	能力・資格 実務経験年数等	雇用形態			一週間の 勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託		
施設 配置 人員	館長							
	管理運営業務責任者							
	管理業務担当							
	サービス業務責任者							
	サービス業務担当							
	トレーニングルーム 総括責任者							
	トレーニングルーム 監視運営従事者							
	維持管理業務責任者							
	受付業務責任者							
	受付業務従事者							
	設備管理業務責任者							
	設備管理業務従事者							
	警備業務責任者							
	警備業務従事者							
	清掃業務責任者							
	清掃業務従事者							
	用具管理業務責任者							
	用具管理業務従事者							
利用者サービス・ 管理業務責任者								
利用者サービス・ 管理業務従事者								

●記入上の注意

- 1 職員一人ごとに記入してください。
- 2 「役職」については、体育施設を管理運営する上で必要と思われる役職(館長、警備員等)を記入してください。
- 3 「能力・資格・実務経験年数等」は、実際に配置する予定職員を想定の上、記入してください。
- 4 「雇用形態」については、該当に○を記入してください。
- 5 貴団体の本社等に本施設の管理にかかわる人員を配置する場合は、「施設配置人員」欄の下部を利用して記入してください。
- 6 「業務委託」欄には、警備・受付等の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる場合に記入してください。

## 館長を中心とした明確な責任体制を構築します

- 業務全般の総括責任者である館長をトップに、業務権限と責任の範囲を明確化します
- 各部門の責任者には、それぞれの分野における長年の経験や所定の資格を有する者を充て、適切な業務執行と危機管理を徹底します



### 1 責任者の役割

#### 館長を中心とした責任体制と役割

- ・ 業務全般を統括する責任者として、代表団体Aの行政経験豊富で施設維持管理を熟知している館長を配置します。
- ・ 館長のもと業務ごとにライン化し、それぞれの責任者が、業務の進行管理、スタッフへの指示、各部門間の調整等を行います。

	役職名	所属	主な業務内容
代表団体	館長	代表団体A	・ 東京武道館総括責任者 ・ 東京武道館業務全般の責任者
	管理運営業務責任者 (管理業務責任者兼務)		・ 施設管理、トレーニングルーム運営、維持管理の総括責任者 ・ コンソーシアム構成団体間の連絡調整、東京都との連絡調整 ・ 管理業務担当者への業務指示等
	サービス業務責任者		・ 利用施設の貸出業務及びスポーツ振興業務の責任者 ・ 利用団体との連絡調整 ・ サービス業務担当者への業務指示等
個人使用	トレーニングルーム 総括責任者	構成団体B	・ トレーニングルーム運営の総括責任者 ・ スタジオスケジュールの管理 ・ コンソーシアム構成団体間の連絡調整 ・ トレーニングルーム運営業務担当者に対する人材育成
維持管理	維持管理業務 総括責任者	構成団体C	・ 維持管理業務全般の責任者、管理運営業務責任者への報告 ・ 各業務（設備・用具・清掃・警備・受付）の指揮監督 ・ コンソーシアム構成団体間の連絡調整
	受付業務責任者		・ 総合受付業務従事者の指導・教育 ・ 団体・個人利用者受付時の案内等
	設備管理業務責任者		・ 設備業務従事者の指導・教育 ・ 定期（法令・自主）点検の日程調整等 ・ 修繕の実施
	警備業務責任者		・ 警備業務従事者の指導・教育 ・ 館内及び館敷地内における秩序維持 ・ 各イベント開催日における警備巡回指示等
	清掃業務責任者		・ 清掃業務従事者の指導・教育 ・ 資機材管理及び消耗品在庫管理 ・ 廃棄物処理（回収・運搬・分別）
	用具管理業務責任者		・ 用具業務従事者の指導・教育 ・ 貸出器具の管理及び使用方法指導 ・ 施設内の整備点検（床・畳・弓道安土等）
	利用者サービス・ 管理業務責任者		・ 利用者サービス・管理業務従事者の指導・教育 ・ 施設予約管理の指示

役割一覧

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



### 適切な勤務体制・人員配置による業務品質の確保を行います

- 関係法令を遵守し、適切な勤務ローテーションを組み、業務品質を確保します
- 大規模大会に対応してきたノウハウを生かし、適正な人員配置を行います
- ライフ・ワーク・バランスを踏まえた働きやすい労働環境を整備し、効果的・効率的な業務を遂行します

#### 1 勤務体制、労働環境及び人員配置

##### 適切な勤務体制の構築と、柔軟な人員配置による業務品質の確保

- ・勤務シフト間で引継事項を共有し、スタッフの業務品質の確保と質の高いサービスを提供します。
- ・大規模イベント開催時等には、ノウハウを生かした規模・観客者数の予測に基づき、必要に応じて当グループを挙げての応援スタッフの投入により人員を確保し、**最適な人員配置**を行います。

##### 働きやすい労働環境の整備

- ・関係法令等を遵守し、適正な労働時間、有給休暇の付与、福利厚生等の実施と、産業医による健康相談、健康診断結果を踏まえた指導などを実施します。
- ・育児や介護に係る休暇を取得しやすい、男女ともに働きやすい職場環境をより充実させます。
- ・新卒・既卒学生就職サイトを活用した職場情報提供を行い、若年層の雇用を推進します。



## 充実した教育研修により安全・安心な環境と高品質なサービスを提供する職員・スタッフを育成します

- 目標管理制度導入により職員・スタッフのモチベーションと業務の質を向上します
- 人材育成方針に基づいた公共施設管理運営に必要な研修の計画的な実施と、資格取得支援制度により、職員・スタッフの資質・能力を向上します
- 毎年度、研修計画を策定し、英会話や障害者対応等に係る研修を導入することで、ダイバーシティ&インクルージョンへの意識向上を図ります



### 1 人材育成の取組

#### 目標管理制度の導入

- ・ 全職員を対象に、**目標管理制度を継続的に実施**します。
- ・ 責任者との個別面談を実施し、自己の目標の設定サポートと業務の質の向上をリンクさせることで、スタッフのモチベーションアップと、**技術や能力の向上**を図ります。
- ・ 自らの強みの分野を持ちつつ、管理部門とサービス部門の双方を経験させるなど、幅広い知識・能力を高める配置管理を実施します。
- ・ 昇任制度をさらに充実させ、職員のモチベーション向上と計画的な人材育成につなげます。

#### 公共施設の管理運営に必要な研修の実施・資格取得の奨励

- ・ e ラーニングなどの研修手法も積極的に取り入れ、年間を通じて計画的な研修を行うことで、スタッフの資質向上と効率的な業務運営を行います。
- ・ スポーツ施設管理士【公益財団法人日本スポーツ施設協会】、障がい者スポーツ指導員【公益財団法人日本パラスポーツ協会】、IT パスポート【独立行政法人情報処理推進機構】等、資格取得にかかる経費を補助することで**資格の取得を奨励**し、職員のモチベーションを高めます。
- ・ スタッフの業務レベルの向上、自主的なスキルアップを支援するため、外部機関が実施する研修への参加を積極的に奨励します。
- ・ 業務スキルの早期取得のため、先輩職員から実践形式で個別の教育指導（OJT）を行います。

#### 利用者・社会的ニーズに応じた研修の導入

##### ①インクルーシブな施設利用に向けた研修の実施

- ・ ダイバーシティ&インクルージョンへの意識向上を図るため、障害者対応や英会話、接遇等に関わる研修を導入し、多様な利用者ニーズにきめ細かく応えます。

##### ②DX 推進研修の実施

- ・ デジタルを活用して施設サービスを変革していくため、デジタルツール等に関する理解を深め、デジタル社会に対応します。

##### ③広報力向上研修の実施

- ・ 本施設の魅力や各種事業を効果的・効率的にPR するため、ホームページや SNS 等の広報ツールごとの特徴や活用事例に関する研修を行い、発信力を強化します。



内部研修

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



提案課題4〔組織及び人材〕 4 人材育成の取組

研修名	研修内容	回数	対象者
全体研修			
新任研修	・職員・スタッフとしての基礎	1回/年	新任スタッフ
個人情報保護研修	・個人情報保護体制 ・プライバシーマーク制度	2回/年	全スタッフ
コンプライアンス (法令順守)	・法令及び規則等の確認 ・コンプライアンス教育の徹底	2回/年	全スタッフ
救命講習	・応急措置法、心肺蘇生法、 自動体外式除細動器(AED)の技能取得	2回/年	全スタッフ
危機管理対応研修 (避難誘導訓練)	・緊急時対応(防災)	2回/年	全スタッフ
接客研修	・接客教育、苦情・要望対応 ・クレーム対応の心構え・注意点	1回/年	サービス業務担当者
障害者対応研修	・障害者対応、人権、多様性の理解等	1回/年	—
英会話研修	・外国人対応の基礎	随時	—
DX推進研修	・デジタルツールへの理解	随時	—
広報力向上研修	・ホームページやSNS等の広報ツールごとの 特徴や活用事例	随時	—
専門研修			
オペレーション スキル研修	・各種受付方法 ・館内利用説明方法	随時	トレーニングルーム 新任スタッフ
専門知識研修 (トレーニング)	・トレーニングの基礎	随時	トレーニングルーム 新任スタッフ
マネジメント研修	・シフト編成、管理方法 ・採用、研修方法	随時	トレーニングルーム 総括責任者
プログラム スキル研修	・ストレッチ研修、ヨガ研修などレッスンプログラム	随時	トレーニングルーム スタッフ

研修一覧表

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



(1) 施設、附属設備及び物品の維持管理

武道施設を熟知した適切な施設、設備の保守と物品管理を実施します

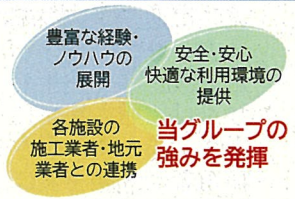
- 本施設の特性に配慮し、3期17年の経験とノウハウを生かした着実な維持管理を実施します
- 建物や木床など維持保全に適した有資格者を配置します
- 備品の定期的な点検による保守管理を徹底します



施設特性に配慮した施設、附属設備の維持管理の基本方針

① 本施設の特性への配慮

- ・「武道は芸術」の設計思想に基づき、周辺の造形物とも一体となった本施設の特徴的な意匠に配慮した維持管理を行うとともに、3期17年の維持管理実績を踏まえた建物施設、附属設備の維持管理を実施します。
- ・武道特有の事故、ケガの予防に配慮した点検業務などの取組を行い、武道施設に相応しい「静粛・清潔・安全」な環境の維持に努めます。



当グループの強みを発揮した維持管理

② 有資格者による万全の管理体制と円滑な業務推進

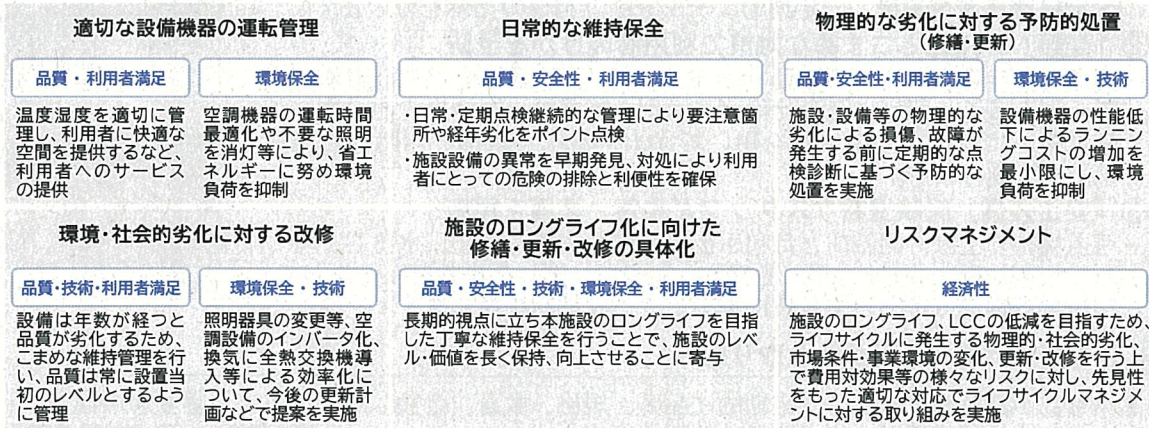
- ・本施設の維持管理業務等仕様書及び管理運営基準、関係法令を遵守し、確実な業務を行うため、設備等の維持管理に十分な経験と必要な資格・知識を有するスタッフを配置します。
- ・本施設は武道のほかに、城北・城東部の総合スポーツ施設でもあるため、**スポーツ施設管理士**を常駐させ、適切な施設維持管理を行います。

第三種電気主任技術者	建築物環境衛生管理技術者
第一種（二種）電気工事士	消防設備点検資格者
第三種冷凍機械責任者	類消防設備士（甲乙各種）
1級ボイラー技士	乙種4類危険物取扱者
エネルギー管理員	自衛消防技能認定
酸素欠乏作業主任者	防災センター要員

スタッフの主な保有資格の一部

③ ライフサイクルマネジメントの考え方に基づく保守管理

- ・「品質」「安全性」「技術」「環境保全」「利用者満足」の向上を重視した保守管理を実施し、本施設のロングライフ化と併せてライフサイクルコストの縮減を目指します。
- ・以下の6つの指針を柱として、設備の管理や維持保全に努めていきます。



ライフサイクルマネジメントに基づく維持管理の方針

施設、附属設備管理の具体的な取り組み

① 維持管理業務計画に基づく計画的な業務の実施

- ・本施設の特性、特徴及び利用状況を踏まえ、業務計画書（日常・月間・年間点検）と各種業務マニュアルを作成し、日常・定期点検を確実に実施します。
- ・点検結果や故障履歴の内容と施設・設備の設置からの経過年数に応じた適切かつ予防保全や事後保全を組み合わせた計画的なメンテナンスを実行し、本施設の「快適で健康的な環境」の保全に取り組みます。

② 施設利用者の安全と快適を確保する清掃の実施

- ・更衣室やトイレ、シャワー室の清掃は毎日適時に実施し、各貸出施設は利用毎に貸出時間終了後清掃及び必要に応じて除菌作業を実施するなど、利用箇所や貸出施設に合わせて最適なタイミングでの清掃を行い常に清潔で快適な状態を保ちます。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



- ・本施設は土足禁止のため、素足などで館内を通行することになります。清掃時には衛生面だけではなく、通路や階段などの木床チェックなど安全に配慮した作業を行います。
- ・除菌洗浄剤には幅広い菌種に除菌効果があるとともに、素材への影響が極力低いものを使用し、衛生面、感染症予防のみならず、施設や備品類の保全にも配慮します。

### ③不具合の予防と発生時の緊急対応

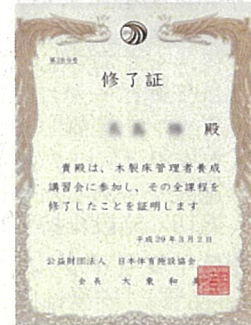
- ・館内のスタッフ全員が館内巡回時に不具合・異常箇所の発見に努め、発見時は速やかに設備が現場に急行し対応します。
- ・竹刀やなぎなた、弓などの武具を用いた競技は、建物や設備を破損させる事故が多く発生します。当施設ではスタッフや大会主催者を通じた呼びかけ、館内掲示による利用者への注意喚起をこまめに行い、事故を減少させました。引き続き事故の予防を図ります。
- ・利用者に危険を及ぼすような物理的な不具合が発生した場合は、利用者の安全確保を第一に考え、発生箇所とその周辺範囲に立入り制限区域を設け、速やかな復旧措置を行います。また、警備や設備以外の各部門も協力するほか、**構成団体C**から増員するなど、迅速な体制を構築し、二次被害防止と復旧に当たります。



除菌・清掃の様子



破損注意の館内掲示



木製床管理者養成講習修了証

## 本施設独自の維持管理

### ①「木床のささくれ」を防止とこまめな対策で利用者のけがを予防

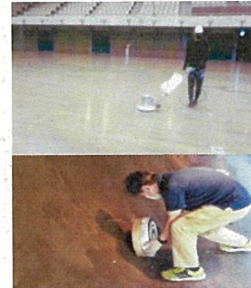
- ・大武道場や第二武道場では、**開館前と利用終了後**に「木床のささくれ」の有無を入念に確認、利用者のけがを予防を図ります。
- ・木床面に設置するラインテープは剥がす際に木床表面を剥離させやすいため、専用テープを選定し使用させるとともに、作業も本施設の用具スタッフが対応するため、安全で美しい床の状態を保ちます。
- ・(公財)日本体育施設協会が開催する木製床管理者養成講習会を修了した**木製床管理者を配置**し、定期的にチェックと補修の指示を行います。

### ②「畳類」の消毒とこまめな対策で利用者のけがを予防

- ・柔道・空手競技で使用する畳・マットには、汗、血液など体液付着による汚れも多く、汚れに合わせ除菌洗浄剤を噴霧の上で清掃の他、血液汚れに対してはオキシドールを用いて除去するなど清掃と同時に感染症予防も実施します。

### ③「安土整備」経験豊富なスタッフが整備・準備を実施

- ・弓道場の安土は、開館前と毎利用後に整備を実施します。水打ち、均しをこまめに行い、安土の崩れを防ぎ、常に均一化した状態を保つことで、利用者が常に気持ち良く競技に集中できる状態を維持します。



武道施設特有の維持管理の様子

## 保守管理における具体的な取り組み

- ・東京都が調達した備品は、定期的に品名、規格、数量、金額、購入年月日、使用場所、使用状況の確認を行います
- ・6つの視点に立った**性能確認**を日常的に行い、東京都が調達した備品の破損や不具合、また移動や変更等が生じた際は速やかに東京都に報告します。
- ・当グループが設置する備品も同様に、**台帳を整備しデータベース化**するとともに、定期的に状態を確認し、修理や処分の計画立案を行います。また、**シールの貼り付け等**により、備品を区別して管理します。

### 6つの視点

動作・音	怪我リスク	劣化・亀裂
正しく動作しているか、異音はないか	触れる部分に鋭利な箇所はないか	劣化や亀裂はないか
緩み	塗装・錆	汚れ・異物
接合部に緩みや欠陥はないか	著しい塗膜剥離や錆びの発生はないか	著しい汚れや落書き、異物等はないか

備品性能確認の6つの視点

## 委託業務のマネジメント

- ・高度な技術が必要とされる維持管理業務は、専門事業者の協力を得て対応し、**厳格な管理指示のもと高い品質を確保**することにより、**安全・安心な施設環境の提供**に努めます。
- ・作業終了後は、作業現場のチェックを実施し、作業完了届及び作業・点検報告書の提出を求め、適切な管理を行ってまいります。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



(2) 施設の修繕

**施設の特性に配慮しつつ迅速かつ計画的な修繕を行い、利用者の快適な活動を支えます**

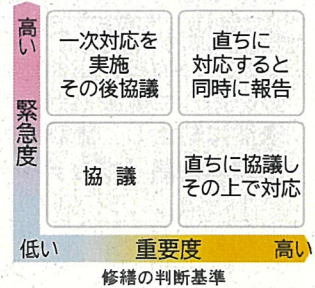
- 意匠に配慮した修繕を実施します
- 休館日や予約のない時間を利用し、施設稼働を最大限確保します
- 中長期的な修繕マネジメントにより施設の効率的な修繕、更新に努めます



1 修繕の基本方針

**施設修繕の基本方針**

- ・本施設は「武道は芸術」の設計思想に基づいております。そのため、修繕においても意匠性に十分配慮し、色合い・材質などはなるべく当時のものを使用します。
- ・当グループは維持管理における予防保全を基本としていますが、本施設は老朽化が進行しており、修繕・現状復旧作業が常態化しています。修繕箇所が発生した際は、3期17年の経験を生かし、過去の修繕履歴のデータの活用や天井裏から配線まで知り尽くした**知識・経験のあるスタッフ**の配置など、当グループでしかできない対応を行います。
- ・修繕の判断基準は緊急度と重要度を判断し迅速に決定します。また、東京都との協議が必要な場合は速やかに連絡します。



**修繕における業務体制**

- ・本業務は、「管理・運営・維持管理業務実施組織図（課題4-1参照）」のとおり、維持管理業務総括責任者のもと、設備業務担当者が行います。
- ・設備員はもとより、**施設に従事する全スタッフ**が施設等に劣化などの危険性がないか**日常の業務運営の中でも気を配り**、不具合箇所を発見した際には迅速に対応できるよう、連絡体制を整えます。

**きめ細やかな修繕業務の実施**

① 作業日程の設定

- ・緊急時を除き、休館日や予約の入っていない時間帯を使用するとともに作業に起因する音や振動などにも配慮した工程調整を行います。また、臨時休館など利用者に影響が出る場合は、東京都に速やかに報告・協議をした上で日程及び工法を決定し、利用者に対して十分な事前周知期間を設けます。



修繕作業の様子(本施設)

② 迅速な営繕作業

- ・トイレや天井からの漏水復旧や館内の電球交換等の作業は設備担当者が迅速に対応します。また、特殊な交換部品等が必要となり復旧に時間を要する場合には、作業状況を掲示するなどの説明責任を果たします。

③ 意匠性に配慮した修繕作業

- ・外観や椅子・壁など利用者の目に留まる場所が破損した際は、意匠性に配慮するために、配色や材質等を**設計事務所に確認**するなどの連携を行いながら作業を進めます。

④ 機器の破損個所に即時に対応できるネットワークの構築

- ・3期17年の管理業務経験の中で、修繕内容ごとのメーカー等とのネットワークを構築しています。そのため、修繕が発生した際は速やかにメーカー等に連絡を取り迅速な修繕を行うことで、利用者への影響を最小限に抑えます。

2 中長期的な視点による修繕マネジメントの展開

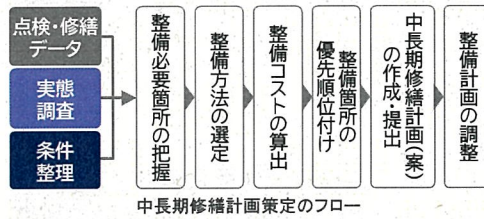
**中長期修繕計画の立案方法**

- ・日常点検や定期点検の記録、各種警報・故障・不具合の記録を貴重なデータとして活用します。
- ・収集したデータを解析して、主要設備の機能・性能の現況及び劣化状況等を把握します。また、必要な修繕・部品交換等の時期を整理して日常の保全に準拠した中長期的な修繕計画を立案し対応します。



提案課題5〔施設の維持管理その他管理運営に関する業務〕1 施設、附属設備及び物品の維持管理

- 使用状況、自然環境により加わった劣化状況とその原因を統計的に分析して、故障出現の頻度予想として活用し、ライフサイクルコスト(LCC)の縮減を図ります。



中長期修繕計画策定のフロー

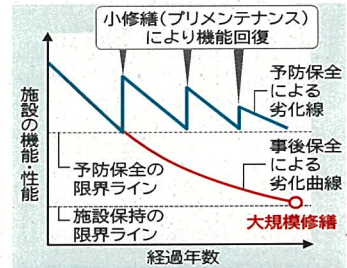


なら積層材のストック(一部)

- 大武道場の床材である「なら積層材床」や第二武道場の床材である「赤松の無垢板」などの在庫を確保するなど、緊急的な修繕に対応する準備を整えます。

休館を伴う大規模修繕を抑制する仕組み

- 修繕期間の長期化や代替機能確保のための経費負担、休館等に伴う一時的な施設使用制限などの影響を生じさせないため、日常点検等を通じて施設・設備の異常を早期に把握し、**不具合等の深刻化を未然に防止し、施設機能の保全**を図ります。
- 小規模修繕「**プリメンテナンス**」を繰り返し行い故障・不具合を「小さな」うちに摘み取り、突発的な大規模修繕の発生を抑制し、高い水準での施設機能の保全を図ります。
- 中長期計画に基づき機器の更新を行うことで、利用者の利便性を損なうことなく機能を維持します。



効果 ① 大規模修繕の回数減  
② 高い水準で施設機能を保持

ライフサイクルコスト削減図

これまでの修繕実績

- 当グループでは、施設の長寿命化や利用者の利便性向上のために各種修繕工事を行ってきました。
- 具体的には、施設老朽化及び利便性向上のための各施設の冷房改修工事を行ったほか、弓道場の安土整備や各種雨漏り修繕などを進めてきました。
- これまでの指定管理者としての経験を生かして、今後も施設の状況及び利用者ニーズを読み取りながら施設の修繕・工事・備品の更新を行っていきます。

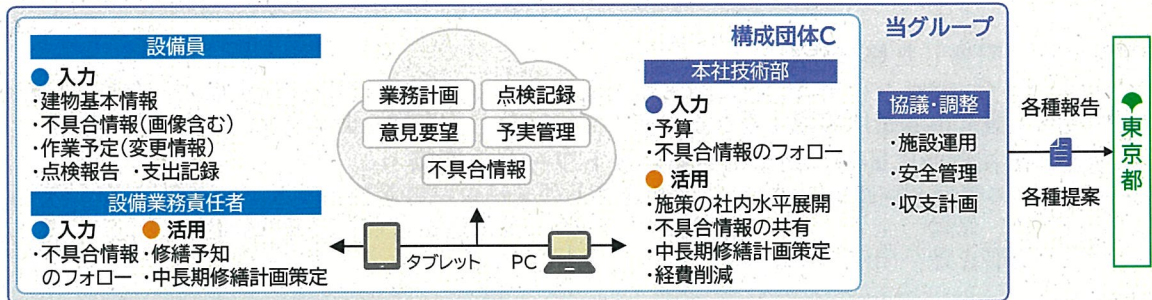
第3期指定管理期間中の主な修繕実施内容
消火栓ポンプ類修繕
P・Q地区点字ブロック修繕
中央監視室照明制御装置修繕
大武道場観客席壁面修繕
近の場安土、芝生修繕
エレベーター他雨漏り修繕
男子小便器センサー修繕
トレーニングルーム等空調機修繕

本施設における工事・修繕等の実績

3 メンテナンス情報の共有・活用

メンテナンス記録を情報資産として活用による一層のLCCの縮減

- 機器の設置年月日・経過年数・修繕記録・点検記録等の情報に関するトータルデータベースにより、**予防保全の展開**や中長期修繕計画の提案など、一層の**LCC縮減**に貢献していきます。
- トータルデータベースを基に、現場の設備員と構成団体Cのスタッフとの間で共同編集及びリアルタイムでの情報確認することにより、作業効率の向上及び迅速な対応を図ります。
- 利用者や東京都からの意見・要望も入力することで、経過を関係者で共有し、迅速に対応します。



クラウドアプリケーションの運用

大規模改修及び東京都施工工事への対応

- 工事日程等については、可能な限り早期かつ確実な把握に努め、休館・休場日の設定の要否を十分検討の上、特に**大規模大会等の優先性を精査**しながら、調整を実施します。
- 大規模改修工事においては、利用団体の意向や競技別利用形態を熟知しているスタッフが周辺住民等の意見も踏まえ工事内容に反映できるよう、打合せに参加します。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



(1) 危機管理及び災害対応

あらゆるリスクに迅速かつ適切に対応できる体制を整備します

- 業務における潜在リスクの抽出・分析・評価を行い、リスクマネジメント体制を整備します
- 施設瑕疵による利用者の事故に備えた保険に加入いたします
- 消防署等と連携した防災訓練を実施し、大規模災害時に確実に機能する組織づくりをします
- 都立一時滞在施設としての役割や足立区との災害時協定を確実に果たしていきます



1 リスクを軽減又は未然に防ぐための取組

リスクマネジメントの徹底

- ・地震や水害などの自然災害の発生に備え、災害備蓄品の適切な管理や足立区のホームページでハザードマップを確認するなど常に危機意識をもって業務を遂行します。また、台風発生時には事前に施設周りの物品の撤去などを行い、二次被害を未然に防止します。
- ・事故・失火につながりうる危険な個所などを監視カメラの適正運用やスタッフ・警備員による頻繁巡回などを通じて確認・整備等を行い、人為的な危険を未然に防ぐ対応を実施します。

AED講習会の受講と定期的な救命訓練の実施

- ・本施設の各階にAEDを設置し、緊急時には全スタッフがAEDを適切に取り扱えるよう、東京防災救急協会が実施する「普通救命講習」の資格を取得し、対応していきます。
- ・緊急時に適切な対応が取れるよう、状況把握の方法から救急車の手配・誘導までを簡潔にまとめた「携帯カード」を作成し、全スタッフに常時携帯させます。

事故に備えた保険の加入

- ・「施設所有管理者賠償責任保険」に加入し（身体：1名7,000万円、1事故10億円、財物：1事故500万円）、万が一施設側の瑕疵による事故等により、施設の利用者等に損害を与えた場合に備えます。
- ・昇降機賠償責任保険や漏水による損害の補償等の施設所有管理者賠償責任保険のオプション補償を付帯することにより、想定される様々な事故に備えます。

2 緊急時・災害発生時の対応

東京都地域防災計画に基づく災害時の対応

- ・震災発生時に本施設は「東京都帰宅困難者対策条例」の「一時滞在施設」として指定されていることから、「都立施設を活用した一時滞在施設の運営マニュアル（東京都総務局総合防災部）」に基づき、代表団体Aが策定している「帰宅困難者のための一時滞在施設の運営マニュアル」を適切に運用します。
- ・足立区ハザードマップを基に、洪水想定高4.5メートル以上の場所に災害備蓄品を分散配置します。また、震災時に自動販売機の飲料を無料提供する覚書を1社と締結しておりますが、今後は協力会社を増やしていきます。
- ・防災センター要員講習及び自衛消防実務講習を修了したスタッフを自衛消防隊を組織します。また、足立消防署の指導のもと、全スタッフを対象とした防災訓練を年2回以上実施するとともに、訓練結果を反映させた自衛消防隊運営マニュアルを順次更新していきます。
- ・卓球の防球フェンスや畳などを災害時に避難者の居住スペースに活用するなど、フェーズフリーの概念を取り入れます。
- ・災害発生及び事故・急病等の発生等の緊急時には、上記自衛消防隊運営マニュアルや、代表団体Aが策定している「事故発生時報告等事務処理要綱」などに基づき、館長に情報を集約し、東京都をはじめ関係機関への連絡・通報など、迅速な対応を行います。
- ・本施設は、東京都と足立区との間で「避難所等施設利用に関する協定書」が締結されており、足立区から災害発生時に避難所の開設要請があった場合は、速やかに対応します。
- ・地震発生時は人命の安全確保後、直ちに建物被害状況を把握し、施設内の危険区域の設定を行うことで、二次災害を未然に防ぐとともに、一時滞在施設としての機能確保に努めます。



一時滞在施設物品保管状況



自衛消防隊訓練の様子

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



(2) 地球環境への配慮

「スマートエネルギー都市」・「ゼロエミッション東京」の実現に寄与するため、公共施設として率先した環境配慮に努めます

- 東京都の環境施策に協力するとともに、「HTT(減らす・創る・蓄める)」の取組を通じ、持続可能な社会の実現に貢献します
- 積極的な環境対策を実施し、環境課題解決に向けた施設運営を行います
- スポーツ施設として、環境対策を通じ、スポーツの発展に寄与します



1 東京都の施策等を踏まえた環境配慮の取組

EV 車充電機の利用方法や取組を都民に広く周知し、施策に協力

- ・本施設は電気自動車の充電設備が設置されていますが、充電設備は設備によって使用方法が変わります。当グループでは、都民が安全に利用できるよう、従業員に対し本施設に設置されている充電設備の使用方法についての講習を行います。
- ・SNS やホームページ等において利用案内など積極的な広報展開を行い、電気自動車利用の促進に貢献するとともに、ZEVの取組を都民へ広げ、東京都の施策に貢献します。
- ・代表団体Aが本施設に設置した太陽光発電の活用や未使用施設のこまめな消灯など、節電に心がけることで、「HTT(減らす・創る・蓄める)」においても積極的に寄与していきます。

地球環境への配慮・SDGsの具体的な取組

- ・当グループでは平成30年度に本施設の電力契約を変更し、光熱水費の削減を図ってきました。
- ・令和4年度より都立施設では、地球環境対策から「東京都グリーン購入ガイド水準1」を満たす契約、できるならば水準2を満たす契約を電気事業者と締結するよう求められています。本施設では、グリーン購入ガイド水準2を満たす電気事業者と交渉を重ね、契約を締結しています。引き続き水準2を満たす業者と契約を継続し、東京都の環境政策に最大限対応します。

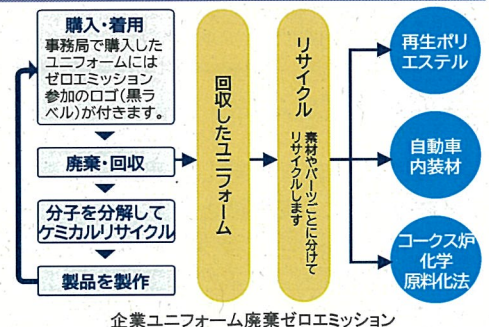
区分	対策名称	取組内容	SDGs関連ゴール						
			6	7	11	12	13	14	15
省エネ	ZEV用充電設備の導入	・充電設備の導入を東京都と前向きに協議		●	●		○		
	エネルギーマネジメントによる無駄の排除	・集中監視システムでエネルギーデータを系統別、時間別で記録 ・データ解析しエネルギー消費動向を把握・CO <sub>2</sub> 排出量の見える化 ・施設使用状況に応じた照明・空調の停止	○		○	●	●		
	熱管理	・負荷の平準化(温度時間の効率)、ヒートパターンの改善・温度設定見直し		○	○		●		
	使用電力の再生可能エネルギー化	・「東京都グリーン購入ガイド」における水準1で示されている供給電力量の100%を再生可能エネルギー電力にすることを目指す		●	○		○		
	省電力	・太陽光発電設備の設置・LED照明の導入・照明の間引き ・夜間電力による冷凍機の運用・節電型自動販売機の導入		●	○		●		
	節水	・節水型シャワーヘッドの導入・中水(プール溢れ水)の再利用(トイレ洗浄水・中庭散水)	●	○	○			●	
廃棄物	ペーパーレス化	・両面・2アップ印刷等の徹底、会議資料の電子化によるコピー用紙使用量の低減		○		●	○		●
	省エネキャンペーン	・定期的にキャンペーンを展開し、目標数値を設定		●	○	○	●		
	排出量削減、リサイクル	・館内で回収したごみを集積所で再分別 ・利用者に対し、館内掲示により分別への理解を促進			○	●	●	○	●
	ワンウェイプラスチックの削減	・売店等での紙袋配布、エコバック推奨・事業参加者へのマイボトル持参依頼				●	○	○	
調達	グリーン調達の徹底	・グリーン購入法に基づく商品や環境配慮がされている 同法適合商品の購入を推進			○	●	○		
	緑化推進	・樹木医による劣化診断を通じ、良好な緑地を保全、緑化を推進 ・中庭に緑のカーテン設置・植栽植替え時の在来種植栽選定					●		●
環境配慮型薬剤	・除草剤、樹木の消毒液や清掃業務で使用する洗剤等で環境に配慮した製品を使用				●	○			

環境対策の実施状況の一例

●：関連度大 ○：関連

ユニフォームリサイクルや紙の削減により、長期にわたり地球環境政策に貢献

- ・構成団体Cが、循環経済パートナーシップ(J4CE)が展開する「企業ユニフォーム廃棄ゼロエミッション」の取組に参画しており、代表団体A及び構成団体Bも同取組に積極的に参加し、廃棄するスタッフユニフォームからでる廃棄物を最小限に抑え、効率よく資源化し、最大限リサイクルすることで、循環型社会の形成に貢献し、結果としてCO<sub>2</sub>の削減にもつなげていきます。
- ・ペーパーレスやはんこレスにより、今後も積極的に環境対策に取り組み、未来の東京を見据えた「サステナブル・リカバリー」の推進に貢献します。



企業ユニフォーム廃棄ゼロエミッション

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



(3) 個人情報の保護

**厳格な個人情報保護マネジメント体制を整備・運用します**

- プライバシーマークを取得している団体として、個人情報管理体制を自主的に確立します
- 個人情報を含む重要情報保護のため、情報セキュリティ体制を構築します
- 採用時から退職後まで、個人情報に関する守秘義務の遵守を徹底します
- 情報漏えい等の緊急時には、代表団体Aを中心に迅速に対応し、二次被害を防止します

**1 個人情報保護のマネジメント体制の確立**

**これまでの実績と本施設の管理体制**

- ・ 代表団体Aを中心として、各構成団体がプライバシーマークに準拠した個人情報管理体制を確立します。
- ・ 代表団体Aは、(一財)日本情報経済社会推進協会から**プライバシーマークを取得**しており、「個人情報保護方針」、「個人情報保護に関する規程」及び「個人情報保護要綱」を整備し、厳格な個人情報の管理体制を自主的に確立します。
- ・ 構成団体Bは、全国に多数ある直営の店舗での管理運営経験から独自の個人情報保護体系を構築しており、厳格な運用を行います。
- ・ 構成団体Cは代表団体Aと書面を取り交わし、統括的な個人情報保護マネジメント体制を構築します。



**本施設における個人情報の取扱い**

- ・ 本施設では、施設利用申込、団体登録申込及び事業参加申込などにおいて、氏名、生年月日、年齢、性別、住所、電話番号等の個人情報を取扱います。
- ・ 個人情報保護マネジメントシステムを確立し、各業務責任者が日常的に検証を重ねるとともに、法律・条例、規格等の改正に適切に対応するなど、**継続的な改善と適正な運用**を図ります。

**2 個人情報保護を含む情報セキュリティ体制の構築及び守秘義務を徹底するための取組内容**

**情報セキュリティ体制構築の具体的な取組**

**守秘義務を徹底するための取組**

- ・ 全スタッフが個人情報の取扱いに対する正しい認識を持ち、適正な管理運用を図るため、**全職員を対象とした定期研修**を実施するほか、必要に応じて臨時研修を行います。
- ・ 「職員就業規則」に則り、退職後も含めた守秘義務の遵守を徹底します。

**緊急時の迅速な対応**

- ・ 万が一、個人情報漏えい等の緊急事態が発生した場合、各規程等に従い、迅速に対応します。
- ・ 二次被害の防止のため、事実関係、発生原因及び対応策を遅滞なく公表するとともに、東京都及び関係機関に報告します。

**3 情報公開について**

- ・ 「情報公開条例」及び代表団体Aが定める「情報公開要綱」に基づき、情報公開を進めます。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



(4) 感染拡大防止について

「都立スポーツ施設等の再開館に向けた感染拡大防止ガイドライン」を踏まえ、施設の特性に合わせ柔軟に対策を講じていきます

- 利用者が安心してご利用いただけるよう施設運営を実施します
- 従業員向けの感染対策を講じ、都民サービスに支障のないよう業務に取り組みます
- 感染者発生時の対応を迅速に実施することで、感染の拡大を抑制します



1 安心してご来館・ご利用いただける施設・事業運営

利用者向けの対策

- ・ 消毒や換気、三密の回避など基本的な対策や「都立スポーツ施設等の再開館に向けた感染拡大防止ガイドライン」や「競技別の感染症対策ガイドライン」に基づいた感染症対策を実施します。
- ・ また、利用者への TOKYO ワクシオンへの参加呼びかけなど東京都の感染症対策についても積極的に対応します。
- ・ 施設の利用者入替の間に、武道場の床や畳、更衣室や使用備品など、利用者が触れた場所について消毒を行います。また、消毒作業時には、維持管理の視点や人体への影響を踏まえ、消毒液の安全データシート(SDS)が確認できるものを使用した消毒作業を実施します。
- ・ 入場口を分け、AI サーモカメラで検温を行うなど、安心して施設利用できる運営を行います。
- ・ 即時検温可能な非接触型の検温器設置や名前や年齢等を自動保存することが可能な WEB 版体調管理チェックシートの導入により、ストレスなくスムーズに利用できる環境を整えます。



入場口の感染対策

対象利用者	具体的な取組例
団体利用	大会時の館内における感染症対策などのアドバイス
個人利用者	個人利用の人数制限や事前予約制の実施。共用スペースでのマスク着用の徹底
トレーニングルーム・スタジオ利用者	ランニングマシンの間にパーティション設置、トレーニングルームにサーキュレーターを配置。マシンの間隔を極力広くとり対面しないレイアウトの配置
事業参加者	着席位置の工夫による密集・密接の防止。参加者の人数制限や事前予約

各施設利用者の特性に応じた具体的な取組例

従業員向けの対策

- ・ マスクの着用等の基本的な対策の徹底に加え、出勤時に体温計測や体調変化の有無のチェックや休憩室のパーティションの設置などの対策を行います。また、体調不良が発生した場合は出勤停止の処置を取ります。
- ・ グループ各社において、業務時間外において体調不良が発生した場合などに備えた連絡体制を構築しており、事前の出勤停止などの対策を行い、リスクマネジメントを図ります。

感染者発生時の対応

- ・ 利用者に感染者が発生した場合、主催者と協力して対応を協議するとともに、体調管理チェックシートを用いて当該感染者の行動履歴を追いながら、消毒作業をし、必要に応じて同時間・同利用場所にいた利用者に連絡し、感染拡大の抑制に努めます。
- ・ 右表のとおり、事前に東京都に報告する事項を整理することで、感染者発生の際、東京都や利用者に必要な情報が迅速に届くようにしています。
- ・ 感染者が発生した場合、東京都陽性者登録センター(令和4年8月開設)等、陽性を確定した機関名を含めて、東京都に報告するなど、時流に合わせた対応を行います。

都に報告する事項	都への報告方法		
	メール	電話 ※1	館HP掲載
①施設職員が陽性と判明した場合 ※3	○	○	○ ※2
②利用者が陽性と判明した場合	○	-	○ ※2
③施設利用者に陽性者がでたことが報道される、または、された場合	○	○	○
④施設でクラスター(概ね5名程度)が発生した場合(発生する恐れがある場合含む)	○	○	○
⑤感染した施設職員と接触した利用者が濃厚接触者となった場合など影響が大きい場合	○	○	○

※1 平日は施設管理担当者(都庁)、土日祝日は施設管理担当課長の緊急連絡先

※2 出勤又は利用から2日以内の発症又は陽性判明の場合のみ

※3 施設職員の陽性判明に係る東京都への報告は、別添「報告票」による

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



## 東京都の施策に最大限対応するとともに、経費の抑制や収入増加の見込みにより指定管理料の縮減に貢献します

- 利用料金の見直しや事業収益の増加、収益の回復に取り組むとともに、コストの見直しにより、指定管理料の縮減に努めます
- 計画以上に増収となった場合、管理運営費やスポーツ振興事業運営費に充当します
- 収支赤字が発生した場合は、グループ全体で補填し確実に管理運営します

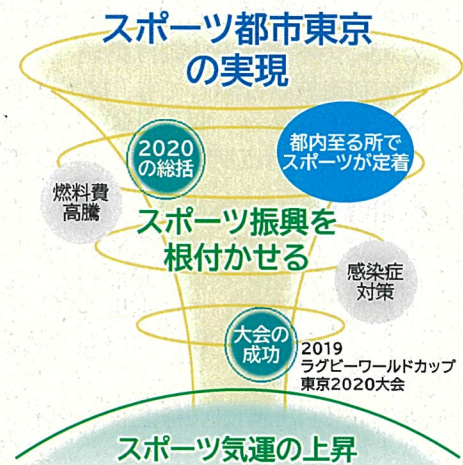


### 1 収支計画について

#### 収支計画作成に当たっての基本的な考え方

#### ① 武道の殿堂としてスポーツ推進に貢献し、適切な収支計画を策定のもと施設運営の安定化

- ・ 東京 2020 大会はコロナ禍という特殊な環境下で開催されましたが、アスリートが活躍する姿は、都民・国民に勇気と感動をもたらしました。次期指定管理期間は、この気運を逃さずスポーツ振興に生かし根付かせていくために非常に重要な時期と考えています。
- ・ 一方、社会情勢として新型コロナウイルス感染症による大規模大会の中止、行動規制の呼びかけだけでなく、海外生産品の出荷減少等に伴う原材料費の高騰の影響、世界情勢に影響を受けた燃料費の高騰という状況に直面しており、施設運営を行うに当たっては**安定的な収益の確保及び経費の抑制は大変厳しい状況**にあります。
- ・ このような大変厳しい社会情勢のなかで、公平性を鑑み**受益者負担の観点**を明確に持ち、**収入増の見込み**を打ち立てるとともに、支出も政策連携団体としてコンソーシアム団体と一丸となって見直しを行い、**参考価格306,671千円**に対し、**306,671千円**と、**参考価格と同額に抑えた提案額**としました。
- ・ 収支計画については、個別に下記の考え方により作成しております。次期指定管理期間は上記のとおり非常に重要な時期であり、かつ大変厳しい期間でもあることから、代表団体Aは都の政策連携団体として、そして、本施設のほか複数施設の管理運営を行う指定管理者として、今まで以上に都との連携を強固にしていきます。さらに「TOKYO スポーツレガシービジョン」をはじめとする東京都が推進する施策を具現化し「スポーツ都市東京」の実現に寄与します。



#### ② 高稼働率の堅持、受益者負担による適正な料金設定等による収入計画

##### 【専用使用】

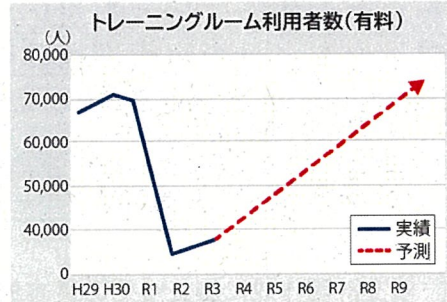
- ・ 団体利用は、これまでの新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和4年度に入っても選手や大会関係者の感染などの理由により、**無償キャンセルになる大会等が発生し厳しい収入状況**にあります。
- ・ 3期17年にわたり培ってきた団体とのネットワークや運営ノウハウ等により、専用利用の稼働率は令和3年度で平成30年の水準の7割まで回復しています。しかし無観客大会などスタンド利用の大会が少ないため、収入額は厳しい状況にあります。
- ・ 消費増税、維持管理費用の負担増により、提案課題 2-1-(4)利用料金に記載のとおり、実施する料金改定に対応した収入見込みとし、受益者負担の観点に立った適正な料金を徴収し、収入確保に努めます。



提案課題 6〔収支計画〕

【 個人使用 】

- ・トレーニングルームや各武道場における個人使用については、一人ひとりの利用者ニーズを的確に掴み、広報やプログラムの変更など一つ一つ地道に改善を重ねてきた結果、利用者数が着実に増え、多くの都民に利用される施設になりました。しかし、感染症まん延による行動規制などライフスタイルの劇的な変化により、大幅な利用者減となりました。
- ・現在はコロナ禍前の6割程度の利用者数となっており、以前の利用者数には至っておりませんが、今後は、本施設にてニーズの高い「ズンバ」を新たに3クラス増やすなどこれまで以上に利用者ニーズを的確に捉え、**都民に愛される施設を目指し収益回復を目指します。**
- ・第一武道場・第二武道場・弓道場で行っている個人利用においても、新型コロナウイルス感染症対策による事前予約制は継続しつつ、広報や武道相談を通じて、安定的な稼働を目指します。
- ・個人利用施設に関しても、提案課題 2-1 - (4) 利用料金に記載のとおり料金改定を前提に同程度の収入額を見込み、収入計画としています。
- ・なお、次期指定期間平均として**平成 30 年度の 8 割の回復見込**としています。



【 利用者サービス事業 】

- ・本施設の駐車場は地下に併設されており、大会時における主催者用駐車スペース確保など利用者に安心して使えるよう対応してきたことで認知度を高め、利用者を増やしてきました。本施設の稼働率に連動して駐車場の利用も増えるため、これらの収益を収支計画に反映しました。
- ・これまでと同様に施設利用者へ減免措置を行うことで、大会運営を滞りなく実施できるようにサポートします。
- ・本施設では自動販売機業者と綿密な調整を行い、季節に応じた商品を提供することで少しずつ売り上げを向上させてきました。コロナ禍において大幅な減収となりましたが、今後は利用者が少しずつ戻ることを想定し、指定管理料を圧縮するための収支計画としました。
- ・新規利用者サービス事業として大武道場に高速通信規格 Wi-Fi を設置し、大会主催者に適正な料金で貸出しを行うことで、利用率を向上させ収益に反映させます。

③ 不断の営業努力や豊富な知見に基づく経費削減等による支出計画

【 燃料費高騰 】

- ・世界情勢に影響を受けた燃料費の高騰により、令和 4 年 2 月から現在までに**電気料金における燃料調整費が**  
**、ガス料金の調整単位料金が** 上昇して  
**ます。**令和 4 年 2 月から同年 8 月までの上昇幅を本施設の年間想定使用量に換算すると、**電気料金で約**  
**、ガス料金で約** の費用増に相当します。

【 維持管理・修繕対応等 】

- ・開館から約 35 年を迎え、老朽化した建物・設備・機器が多く日々の修繕や予防保全が欠かせません。また、令和 10 年に大規模改修が控えているため、今まで以上に機器の延命が必要になります。
- ・そのため、必要な整備は行いつつも中長期的な計画を立案し**優先度の高いものから補修**を行うなどメリハリのある維持保全を行うとともに、計画を上回る収益が見込まれた場合には**修繕費用の原資**とする等、指定管理料の縮減を図ります。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



## 提案課題6〔収支計画〕

### 2 指定管理料の算定

#### 与件整理

#### ① 第3期指定管理期間以降追加された業務の確認と参考価格の比較

### 3 支出計画について

#### 必要な業務を確実に実施しながらコストを削減

#### ①人件費 計画額 千円

- ・建物管理（電気・機械設備等）に必要な有資格者を配置するだけでなく、警備・清掃・総合受付など要所に責任者を配置するなど、本施設に長年携わってきた熟練の専門家集団が施設を運営します。専門知識とノウハウを有した正規職員を適切に配置し、技術者が施設の特徴・問題点等を踏まえた的確な業務を行います。
- ・トレーニングジム等の個人利用施設には、正規職員・臨時職員をバランスよく配置し、安全・安心な施設運営と業務の効率化を両立させます。

#### ②光熱水費 計画額 千円

- ・電気、ガス、水道に係る費用については、過去の運営実績に基づく標準的な使用量により費用を積算しています。

#### ③消耗品費等 計画額 千円

- ・消耗品、備品等に係る経費については、当グループが運営する他スポーツ施設と部品や物品を融通することにより、効率的な執行を行います。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



## 提案課題 6 [収支計画]

### ④ 役務費 計画額 千円

- ・キャッシュレス券売機等の通信回線の維持や支払いに伴う手数料を計上します。利用者サービス向上とDX推進を強力に推し進めるための費用を計上しています。

### ⑤ 委託費 計画額 千円

- ・老朽化した施設を適切に維持管理し、安全に運営するために必要な保守等に係る費用を計上します。電気設備、機械設備、衛生設備等各種設備の点検業務のほか、清掃業務、警備業務等に係る費用を計上しています。

### ⑥ 修繕・工事費 計画額 千円

- ・老朽化した施設・設備を計画的に修繕するための費用を計上します。東京都との役割分担により、指定管理者が実施すべき日常修繕等に係る経費を見込んでいます。
- ・大武道場や第二武道場の床や機械室内設備一式や各所の雨漏り等、次の大規模改修まで暫定的な措置が必要な修繕について対応するための費用を計上しています。

### ⑦ 賃借料 計画額 千円

- ・事務機器等の他、トレーニングルームマシンやキャッシュレス決済に対応した新たな入退場システム等、利用者の利便性向上に必要な各種リース物品に係る費用を計上しています。

## 4 収入計画について

### 様々な方策により収入を確保

#### ① 全国・全都的な大会を積極的に誘致

- ・東京都における武道の殿堂としての役割を踏まえ、各種武道の全国大会や全都的な大会を積極的に誘致します。また、有観客の大会を多く開催することで、「みる」スポーツの推進に資するとともに収入の確保につなげます。

#### ② 個人利用者数の増加

- ・新型コロナウイルス感染症による休館や利用制限のために離れてしまった利用者を取り戻すため、利用者ニーズに沿った機器整備と満足度の高いサービスを展開します。これにより段階的に利用者数を回復させ、複合的に収益を回復させます。

#### ③ 自主事業・利用者サービス事業

- ・スタジオプログラムなどの自主事業、駐車場や売店の運営等の利用者サービス事業により、利用者サービスの向上とともに収益の増加を図ります。自主事業及び利用者サービス事業により得た収益は、指定管理収支に収入として繰り入れることで指定管理料を縮減します。

## 5 収支赤字が生じた場合又は収支計画を上回る利益が発生した場合の対応について

### 公の施設の指定管理者として責任を持った運営

- ・公益法人である代表団体Aが収益業務のスキームを担うことにより、計画を上回る収益が上がった場合でも予算全体の調整を図り、構成団体各社の売上にそのまま繰り入れず、施設の補修修繕、競技用備品の更新、障害者へのサービス向上など、利用者サービス向上策に還元しています。
- ・自主事業及び利用者サービス事業の収入は全額繰り入れることで、指定管理料を縮減します。
- ・損失が発生した場合は**グループ全体で赤字分を補填**し、指定管理期間中は責任をもって管理運営にあたります。

#### (参考) 不確定要素について

- ・現在の上昇傾向が続いた場合は、令和5年度は電気料金の燃料調整費はさらに 以上(年間換算 )、ガス料金調整単位料金は (年間換算約 )の上昇が見込まれます。この場合は **千円が毎年さらに負担となる可能性があります。**
- ・新型コロナウイルス感染症対策に伴い、令和3年度のキャンセルになった施設予約額や個人利用者数の減となった額は となりました。収入計画の基礎算定額は新型コロナウイルス感染症以前の数値としていますが、感染症拡大の状況が悪化した場合は、この減収の可能性が不確定要素となります。
- ・**光熱水費は本施設支出の を占める項目**であり、不要な照度を下げる、空調のこまめな調整など、細かな努力を積み重ねることで支出の圧縮に努めますが、令和5年度当初の高騰水準や令和6年度以降高騰が続くなど、不確定要素発出の際はあらためて都と協議させていただきます。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ



提案課題6 別表 指定管理期間中の収支計画

(1) 支出の計画

単位：千円

項目		5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計	内容	備考
人件費	正規職員								
	臨時職員							7月1日、派遣職員、非常勤職員等	別紙1積算内訳①
	人件費計(A)								
事業費	光熱水費							電気・ガス・水道・燃料	別紙1積算内訳②
	消耗品費等							消耗品、備品、印刷製本、原材料等	別紙1積算内訳③
	役務費							電話・通信・運搬費等	別紙1積算内訳④
	委託費(維持管理費等)							設備保守・清掃・警備・その他業務委託等	別紙1積算内訳⑤ 及び別紙2委託費内訳
	修繕費・工事費								別紙1積算内訳⑥
	賃借料							リース料等	別紙1積算内訳⑦
	その他							諸謝金・旅費交通費・その他経費	別紙1積算内訳⑧
	小計								
	間接費							管理運営に伴う本社の経費(人件費を含む。)	
	合計								
消費税									
管理運営費計(B)									
事業費								スポーツ振興事業、スポーツの日記念事業に係る事業費	
間接費								スポーツ振興事業、スポーツの日記念事業運営に伴う本社の経費(人件費を含む。)	
合計									事業計画書 3-1-(1)(2)
消費税									
スポーツ振興事業費計(C)									
支出合計(D=A+B+C)									



(2) 収入の計画

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計	内容	備考
管理費							専用・個人の施設利用料金、自主事業及び周辺連携事業の施設利用料金	別紙1積算内訳⑨
運営費							預金利子、利用者サービス事業に伴う光熱水費等	別紙1積算内訳⑩
管理運営費計(E)								
参加料							スポーツ振興事業、スポーツの日記念事業に係る参加料	
振興事業費							スポーツ振興事業、スポーツの日記念事業に係る協賛金等	事業計画書 3-1-(1) (2)
振興事業費計(F)								
その他(G)							自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業からの繰入額	事業計画書 3-1-(3) (4) (5)
収入合計(H=E+F+G)								

(3) 都からの委託料

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計	内容	備考
都からの委託料(D-H)	306,671	306,671	306,671	306,671	306,671	1,533,353		

※ (参考) 自主事業、周辺連携事業及び利用者に対するサービス提供事業の収支 (積算内訳は事業計画書3-1-(3) (4) (5))

単位：千円

項目	5年度			6年度			7年度			8年度			9年度		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引	収入	支出	差引	収入	支出	差引	収入	支出	差引
自主事業															
周辺連携事業															
利用者に対するサービス提供事業															
合計															



提案課題6 別紙1 収支計画の積算内訳

(4) 収支計画の積算内訳

(金額等の数字は収支計画の記入金額と整合させてください。)

① 人件費積算内訳

単位：千円

--	--	--	--	--	--	--

② 光熱水費積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
電気代						
ガス代						
水道代						
燃料代						
合計						

③ 消耗品費等積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
消耗品費						
印刷製本費						
合計						

④ 役務費積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
通信運搬費						
手数料						
その他						
合計						

⑤ 委託費（維持管理費等）積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計

⑥ 工事請負費・修繕費積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
修繕費						
合計						



⑦ 賃借料積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
入退場システム						
その他						
合計						

⑧ 管理運営費・その他支出積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
諸謝金						
旅費交通費						
減価償却費						
租税公課						
その他						
合計						

⑨ 体育施設利用料金収入積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
大武道場						
第一武道場						
第二武道場						
弓道場						
研修室						
トレーニングルーム						
合計						

※ ⑨体育施設利用料金収入の積算補足資料

- 体育施設利用料金収入の積算内容を具体的に記述してください。

⑩ 管理運営費・その他収入積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
利用者サービス						
事業光熱水費収入						
雑収入						
合計						



提案課題6 別紙2 ⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳

分類	作業の種類	金額(円)	備考
建物維持管理業務			
	受変電設備等点検業務		
	構内電話交換設備保守		
	特殊音響設備保守点検		
	電灯・動力設備及び監視カメラ設備等点検		
	特殊照明設備点検		
	駐車場管制設備等業務点検		
	冷温水発生器		
	給湯用ボイラー点検		
	冷却塔設備点検		
	空調点検		
	パッケージエアコン点検		
	ファンコイルユニット点検		
	送風機点検		
	電熱交換機点検		
	エアフィルター交換及び清掃		
	給水用ポンプ点検		
	空調用ポンプ点検		
	排水用ポンプ点検		
	受水槽及び貯湯槽点検、清掃		
	汚水槽点検、清掃		
	雑排水槽点検、清掃		
	湧水槽、雨水槽、雑用水層点検、清掃		
	膨張タンク点検		
	汚水槽、排水管清掃		
	昇降機点検		
	吊物設備点検		
	害虫駆除業務		
	建築物環境衛生測定		
	中央監視設備自動制御設備点検		
	消防用設備点検		
	自家発電設備及び蓄電池設備点検		
	自動扉点検		
	電動ブラインド点検		
	排煙窓オペレーター装置点検		
	シャッター設備点検業務		
	建築設備法令点検業務		
	植栽管理業務		
	清掃業務		



